明治三十七年五月七日第三種郵便物認可
大正十一年五月一日發行（毎月一回一日發行）
女子青年界第十九卷五月號

THE Y.W.C.A. MONTHLY

女子青年界

五月號



野邊地天馬氏著書八種

【健全なる青少年の讀物　各書に清新の氣分滿つ】

推奬・認定	書名	體裁	頁數	定價・送料	版	内容
東京高師讀物調査會推奬 文部省認定書	近世 偉人物語	四六判上製	三七四頁 五號カナ付	定價一・七〇 送料・一〇	増補訂正	十九世紀より現代に亘る歐米偉人二十八名と日本人二名の立身物語なり 著者三部作の一とす（口繪一葉）
文部省認定書	傑作を出した人々	四六判上製	三〇六頁 五號カナ付	定價一・八〇 送料・一〇	最新刊	世界的名聲ある藝術家二十四人の出世物語である。描寫生けるが如し、著者三部作の一なり（口繪一葉）
東京高師讀物調査會推奬 文部省認定書	母を慕ひて	四六判上製	三五四頁 四號カナ付	定價一・五〇 送料・一〇	第三版	孝道を教ふる兒童文學、世界十五ケ國より三十のお噺を收む、著者三部作の一とす（口繪一葉）
文部省認定書	ワシントン物語	四六判上製	三二二頁 四號カナ付	定價二・〇〇 送料・一〇	第二版	服從と眞實を教ふるジョージ・ワシントン傳・逸事逸話を交へつゝ其の一生を叙したるものなり（口繪一葉）
東京高師讀物調査會推奬 文部省認定書	童話 金の鈴	四六判上製	三一四頁 四號カナ付	定價一・五〇 送料・一〇	第二版	創作と飜案とに成り尋常二三四年位のお子樣に讀み得らるゝ五十八種のお話を收めてあります（口繪一葉）
文部省通俗圖書認定出願中	孤兒院の娘	四六判上製	二一一頁 五號カナ付	定價一・三〇 送料・一〇	最新刊	本書は孤兒院にある一少女の身上を描いて世の中が痛快に諷刺したる一面の人生觀であります（口繪一葉）
平井武雄筆 三色版九枚入	舊約物語	四六判上製	三六二頁 四號假名付	定價一・七〇 送料・一二	第四版	舊約聖書は、面白い、お噺の寶庫です。まづ斬んたお話がある、こんな面白い事が書いてあるといふのが、この『舊約語物』であります。
南薫造筆 挿畫九枚入	新約物語	四六判上製	三六八頁 四號假名付	定價一・七〇 送料・一二	第三版	本書は、現代の少年少女に、猶(ユ)ダヤの風土が心に描かれ、人物の活動、事件の推移が、目の當り見ゆるやう工夫いたしましたものであります

發行所　東京市麹町三丁目　振替東京七八四七

丁未出版社　電話九段六六〇

出版書目進呈

第十九卷第五號

女子青年界目次

大正五年十一月號

東京上野に於ける平和博覽會第二會場の外國館の敷地内に日本基督教女子青年會は**婦人無料休憩所**を設置しました。諸女學校から團體なり、個人なりて見物に御遊來の姉妹方は是非御立寄り御休息下さい、又御友人方にも御紹介下さい。番茶は何時でも湧いて居りますし、御氣分でもお惡るい時は應急の藥は備付てありますから、御手紙でもおかきなさるには紙は無代でさし上ますから御遠慮なく御使ひ下さい、御問合せにも出來る丈は應じます設備をしてゐます。紅茶とお菓子は風味のよいのがあり決して外より高價ではありませんからお試し下さる樣に願ひます。

池の端外國館別館出口

日本基督女子青年會

婦人休憩所

新しい童話

「お城シーリーズ」　村山知義譯、畫　(四六版百頁)

第一篇　ロービン・フッド

第二篇　リップ・ヴァン・ウヰンクル

「お城」シーリーズは十二三歳位のお子さんによんで頂く爲の童話の叢書でございます。主として歐米のよい童話を選んで飜譯致します。

第一のロービンフッドは H. E. MARSHILL の "STORIES OF ROBIN HOOD" を自由に譯したものでございます。ロービンフッドは英國の名高い傳說的人物で十二世紀の終りにゐたといふ事になつてをります。シエルウッドの森でいゝ意味でのボヘミヤン、ライフを送つた人で、樂しい無邪氣な正直な勇ましい强い人といふやうな意味の代名詞になつてをります。英國ではロービンフッドの名前を知らない者は一人もないと云つてもよい一般的なものになつてをります。

リツプ、ヴアン、ウヰンクルはキヤツキル山脈に迷ひ込んで何んなことがあつたでせう。彼が彼の生れた村に歸つてきた時は、家も人もまるできのふの樣子とちがひました。彼はアメリカの浦島太郎でした。而かもそのお話は浦島太郎よりずつとこみいつて、新しみのある面白いお話です。外にリリアン・ガスクといふ人の作つた童話、「どうしてどうして」「坊さんと極樂の鳥」「金魚」「皇帝の僧院長」の四編が添えてあります。皆興味の深い童話です。世のお母さま達はその可愛いお子さんの爲には　かういふ種のよいお話をお讀ませになるやうにすゝめいたします。三月一日には本屋に出ました近い本屋にお見當りなさらないやうでしたら、直接本社に御註文下さい。

定價各冊金五十錢・送料二錢・全國各書店取次

東京雜司ヶ谷

婦人之友社


紳士の鬚剃に
カテイ石鹸
安全剃刀
クラブ洗粉
クラブゼリー
クラブタルカン
眉目清秀
品質の優良は世界有數
口當の爽快は天下一品
THE IMPERIAL TOILET
クラブ煉歯磨
クラブ歯磨
クラブ水歯磨

女子青年界　第十九巻第五號　大正十一年五月一日發行

會說

北京大會に臨みて

河井道子

本誌に屢々報道したる萬國基督教學生同盟會大會は四月四日に支那北京清華學校内にて開催されました日本から婦人の代表者は教師三名學生三名青年會幹事三名の九名になりました。代表者は時日の都合上一緒に出發も出來ず歸朝も又一諸ではありませんでした。私は大會前に總委員會と申すのに出席致しました。其は諸國の學生會を代表する六十名程の者で此同盟會全運動を指揮し定制する團體なのです。其會合が五日間北京のグランドホテルで開催されましたが私は二日後れて出席いたしました。

東京をば三月二十六日の夜行で出發し、朝鮮京城で夜二時間止まつた外は皆急行でしたが北京に到着したのは三十一日の夜即ち全四日かゝりました。途中滊車の窓内より眺むる景色の餘り日本のと異つてゐますに驚きました。朝鮮の禿山と陋屋、滿洲の渺漠たる源野に日露戰場や東洋問題を痛感し、奉天北京間の一晝夜は支那の大陸なることに始めて氣付きました。今一ヶ月後ならば春景色の美姿を眺め得しも、まだ麥が一二分芽を出し樹木を稀にしかないのに尙冬枯の姿で全體に物淋しく感ぜられました、然し何となく支那には自

然界にも人間の中にも力と云ふものが潜在してゐる様にも思はれました。

北京のホテルに着し四日間の旅行の塵埃を掃ひ夕食をせんと仕度中、會議に出席せよとの通知が三度も參りましたので食事は中途してホテルの大廣間なる會議室に行きました。室一杯に口の字形に長卓を据え其周圍に五六十名の男女着席してモット博士議長とし國際問題の討議半でした。其夜十一時頃寢につき翌日は午後九時より四月二日の夜十一時迄殆ど間斷なき大協議會でありました。成程世界各國から態々時と金とを使つて會合する必要があるとしみ〴〵悟らせられました。協議の主題を紹介します。

一、萬國學生同盟會の近代學生に與ふべき教使案

二、同會と各國學生會との關係

三、同會と學生間並に非基督教國傳道

四、同會の來る二ケ年間のプログラム

五、同會と出版物

六、同會と財政

七、同會の露國學生救濟着手と中歐學生の補助繼續案

八、同會と國際問題、人種問題の立場

此内一番時間のかゝりしは第八國際問題でこれは約一日半討議もしましたが到底一致の決議案が出來ません、そこでモット博士の發議で、此議題丈は四月四日よりの大會に於て毎日一時間ある協議會に、充分學生等の意見をきゝ、大會後再び此ホテルに委員丈集つて決議せんとの事になり、漸く二日の夜十一時過に一まづ委員會は終りました。其時一名立つて「次回より委員會は少くとも十日間乃至二週間にし、一日八時間制

度を勵行されたし、今回の如く食事中から協議をなし、我等副委員中の或者は朝二時迄頭を使ひ、此數日間ホテル以外一歩もふみ出さぬ者さへある程なり、かくては大會に臨む前に疲勞し果てん」との意見に一同拍手喝采して同意を表しました。

三日は休日との事で、買物や見物、ロッカフエラー病院の歡迎會やらで時間が不足でした。北京市の光景は他に讓り大會に移りませう。

四日は午前十時にホテルから數哩ある會場の淸華學校に行く事になりました。同朝十時に六人の日本婦人代表者が北京着なので大急に彼等をむかへ、ホテル前に揃つた數臺の自動車に他の代表者等と分乘して會場に向ひました。

抑も此淸華學校と申のは、千九百年北京事變後諸國が支那より賠償金を支拂はせましたが、其中北米合衆國は支那政府が敎育の資に當てるならばとの條件つきで、自國の賠償金を支那に返納したのです。其金額を以て出來たのが此學校で、實に其設備や建築は至れり盡せりです、構內へは幾棟となく宏壯の建築物があり其中央に立派な大講堂があつて、優に二千五百人を入れ得るとの事です。いよ〳〵大會になりますと、支那の代表者男女六百余名、其大多數は學生で、其から外國代表者約百五十名、講師や來客を算して八百名余となりました。是等全部を此學校に五日宿泊させ、一齊に食事をさせ、しかも支那食の部、洋食の部に分ちて各自に滿足を與へ、公會には大講堂、部會には他館、運動には水泳場、親睦には純支那式の應接館を開放し案內には中學生よりなる三四十名のボイスカウトが親切に世話なしくれ、萬事萬端準備の出來てゐたには歎賞の外ありませんでした。特に驚いたのは支那人の英語の上達してゐることです、英語を外國語としてゐる多くの辯士中、支那の辯士等の英語演說は一番流暢との好評があつた程で、學生中にも、堪能なる者が多數御座いました。高等女學校生徒でも其は〳〵上手に英語ではなします。加之交際にも馴れて、他に手持無沙汰の思をさせません。特別彼等は日本代表者に厚意を表はし親切にせんと努力した事は感謝で御座いました

日支兩國間の今日の六ケ敷場合は世界に知れ亘つて居ります。其場合彼等が心を盡し我等を歡待して少しでも惡感情を消さんとの努力は實に基督教外には見る事の出來ぬ精神であります。我々も支那の一部分しか知らず、或は二千年、一千年前の支那歷史を知つても今日の新進的な力ある新時代の彼等を知らずして、勞働者、乞食、賭博者、賄賂に寢食する官吏等位を見て輕蔑的に判斷してゐたのではありませんか。現代の青年には確に力が潛在して居ります。讀者に此大會に於ける諸集會、特別六部に別れての協議會を御みせしたく思ひました。支那、朝鮮、印度フイリピンの男女青年が流暢な英語で討議しましたがたゞ言葉のみでなく其の卓見も立派なものでありました。尤も中には自分の說を吐き英語を用いてみせたくて駄辯した者もありはしますが其は小數で、他は皆大會の目的なる基督中心の改造を要求した眞面目な議論でありました。即ち基督の教訓摸範、救及基督御自身を如何に我々が理解して居るか、又、實際の生活問題に其が如何に應用が出來るか出來ないかを正直に確信的に遠慮なく大勢が述べたのは私共にとり生きたる教訓でありました。要するに眞の平和、眞の生命、眞の進歩を要求してゐるのは世界人類共通である事を教へられました。「我は道也眞理也生命也」と仰せられたキリストを正直に試てみたい、今日迄は半信半疑だから地上に神國の建設は不可能であつたが、今後は大膽に信頼して見やう、若し基督の他に個人社會學校國家、國際の改造が出來ぬものならばこの基督を一層深く知りて信じ其の教へと精神とを極達て實行せんといふのであります。

毎日午後の遠足には萬里の長城やら夏の宮殿やらにゆき大總統の歡迎會もありました。夜分は公會で有名なる辯士の講演があり其後各團體の集會親睦會等がありましたがそれらの記事は他にゆづります、ともかく九日の夜にて終りし第十一回大會は國際的大會の重なる位置を占めたものといふは過言でありません。

十日朝七時半特別列車に乘じて二百人ばかりの外國代表者は天津に於ける前大總統の歡迎會にゆきました黎氏自ら英語と國語とにて歡迎の辭を述べ立食の宴を賜ひ、後に興行物を見せ等して午後二時半まで一同を歡待されました、支那の貧富の差の著るしさは同邸の華美と門外に群集せる乞食等に於てよく見えます。何

どみでも支那の現代の教養ある青年男女の責任重きに同情せずには居られませんでした。其後私丈は天津に於ける日本人信者の方々に逢ひ樂しき二時間をおくり夜分おそく北京に歸りました。

十一日は朝からホテルで委員會が開かれ國際や社會問題と同盟會の立場と云ふ難題が又提出されました。十數日間の熟考と祈との結果一同の歸着點は左の如きものであります。

まづ第一に我等は自分及自國の罪を神の前に纖悔し過去に於ての怠慢を謝し、戰爭と云ふ如き重問題につき今我等は一致の見地に立ち得ざるを正直に告白し、今後誠意をもつて基督を探り、彼の敎訓摸範に倣ひ以て社會や國際間の戰爭の源因たるべき分子を驅逐せんため全身全力をもつて戰かはんことに一致し、其方法として二十箇條の實行案を可決したのであります。

かく三十二ケ國の男女代表者が、數百名の學生大表者と相共に語り論じ、他人の意見を尊重し自己の主義を遠慮なく述べたるも取捨其當を得、且つ國際と國家との輕慮を混錯せずして圓滿な、公平な解決に到着せんとの努力、又正直な、謙遜な告白、謝罪は何處から湧き出た精神でしよう。如斯現象は多分ベルサイ宮殿にでも、ワシントン府にても無かつたらふと存じます。何故とならば此大會の主眼は國力の增減にあらで、主エスキリストに倣ひて其精神を體驗して此世を善化美化せんとするにあるからであります。偉大なる哉萬國の光なる主基督！

長谷川、辻兩先生は大連から、豐田靜子姉は朝鮮から、志立ヤナ姉は上海から歸國となりました。私共一行四人は十二日北京を出て十三日青島に着し、同地信者の歡迎を受け渡邊姉の令妹大塚都賀子様方に一泊させて頂き十四日西京丸に投じ十六日門司につきました。あまり會議の忙しさに北京の見物は殆ど出來ませんで有名な天台も宮殿も博物館も官衙學校も見ずに了りました。然し敎養ある支那人の心の裏に建設されつゝある立派な天台や宮中に逍遙することの出來たのを感謝し、且又我國青年に益々キリストに依りての敎養を促し、献身的な、建設的な、勇敢で聖愛的な男女が大勢、國の内外に活動せん日を神に祈る次第であります。

自己を歌ひ自己を肯定せよ

齋藤庫三

（一）

此頃、ある高等學校の若き友にあひました。この友はいま、その地の教會に出入して頻りに基督の道を求めてをらるゝのでした。然し何づ處に救ひの泉の源を見出し得るとも見當さへ就かずに思ひまどふてをるのでした。私はこれに就きいろ〳〵お話をいたしまして、話を進むれば進むるほど分け難き林の奥に迷ひ行くを見ました。そこで私はこの友に尋ねました。貴方は今現在、何を生活の基調としてをられますかと尋ねました。友は曰く、たゞ自己あるのみです、と頗る強く誇りかにさへ申しました。私は愉快に堪へませんでした。近來になき愉快を感じました。そして答へました。そこです。そこです。飽くまで自己を肯定し、自己を主張し、自己を讃へなさい、と。

（二）

現代日本人の生活にはこれぞとした權威を持つておりません。武士道の權威今や廢れ、ブルジョア文化新しく生れ、僅かに珍らしき外來の文化、思想、精神に依つて生活の基調を支へんとする。それさへ十八世紀以後の科學萬能主義に毒せられ、或は流行を追ふてその時々の思想家及びその精神を斷片的に捉へるに過ぎません。無論、これらの背景たる基督教の偉大を捉へんとする度量と赤裸々と公平とを失つてをりまする以上、人々は小賢しき理智の世界にのみ走り、その有樣は恰もギリシヤ往時のソフイス

トの徒に似てをるとしか申されません。この時に當り私は再びソクラテスのごとく立つて『汝自身を知れ Know thy-self』と叫びたいのです。今日、日本人の生活を支配してをるものは曰く人生疲勞、曰く生活不安、稍々自覺したものにとつては個性の横暴、ブルジョアの廢頽的傾向は申すに及びません。思ひ來るときに今日の日本は卑しきエゴイズムと遠廻しな利巧な見へないやうなコンヴエンショナリズムから覺め、これをその衣から振ひ落さねばならぬ時代が來たと思ひます。

（三）

此時に當つて、此中樞に純粋な自覺を呼び起しつゝある少數の人々はあまりに自己に遠慮しすぎてはゐはしないかと思ひます。勿論物的本能に重きを措いて個性の横暴に陷ることは許されません。然しながらこれらの人々はあまりに自己の醜さをかこち、自己の拙さを呪ひ、あまりに自己を否定し、無我の世界を求め、ひたすら靜的の境涯をのみあへぎ慕ふてはゐはしないでしやうか言葉を換へて申しますれば宗教の消極的半面のみを求めつゝあるではないでしやうか。依然東洋の聖者的豫言者の宗教を求めつゝあるではないでしやうか。ペスミステックな痛ましい宗教的英雄の跡をたどつて、樂しい歡喜にみち溢れた人生を否定しつゝあるではないでしやうか。かゝる不完全な自覺は自覺であるよりは自己自殺、即ち自滅であつて恐しい躓きをもたらす神秘宗教にすぎないと思ひます。そこには生きた自己を捧げしむる道義的動力がございません。僅かに恐れおのゝいて現在に縋りついてるだけです。例すれば先きには恐い非道義的とも言へる大本教の神秘教がありました。今また僅かに現在性の道義を攜へをる一燈園派の神秘的動行を見ます。そこには強い自己を肯定し、飽までも自己そのものに執着し、自己を歌ふ誇りかなオプテマテックな豊穰な生命の世界を見ることが出來ません。あまりに自己の魂がかすかな淡い光にわなゝいてをります。時代は最早や教會の片隅

に蚊の泣くやうな祈りを捧げて得々たることを許しません。書齋の一室や寄宿舍の一隅に聞へないやうな祈りと冥想に徒らなる神秘境涯をむさぼることを許さなくなつて參りました。より覺めたる自己、より肯定せる自己を捧げて堂々と道義的動力に訴ふる時代が來たのではないでしやうか。生活の現在性のみならず、過去にも未來にも責任を持つて罪と戰ふ痛烈な自己肯定の灼熱した力を捧ぐる時が來たのではないでしやうか。

（四）

私はあの高等學校の若き友がより強く自己を肯定して現はした姿をたのもしく思はずに居られません札幌農學校の創立者クラーク博士は "Boys be ambisious" 『青年諸君よ野心あれ。』と叫ばれたそうですが今更意義深く受け入れられずに居られません。

私の信ずる所に依れば基督敎は無我の宗敎ではありません。然しながら無我を通して現はれたる有我の宗敎であります。無一物中無盡藏などゝよい加減な曖昧な Simpleness につられてゆく神秘的無我の宗敎ではありません。飽までも動力的有我の宗敎であると思ひます。彼の舊約のヨブがどん底の苦みもがきの中にあつて自己を呪ふても神を呪はなかつたところに强みがあります。『我ら神より幸福を受くれば災禍をも亦受けざらんや。』『エホバ與へエホバ取り給ふエホバの御名は讃むべきかな。』ヨブの自我は强く神と共に肯定され三人の友も如何とも仕難かつたのであります。基督の宗敎はこゝから生れてきたのです。

（五）

由來、『我』の問題は人生の厄介ものでありました人々の喜びも苦もみなこれに基すると言はれてをります。さればヨブのやうに自己を呪ふた人や、或は東洋の聖者やトルストイのやうに自己を攻むる人や萬物の尺度は人にありと小さき自己に捉はれしソフイストの徒や、デカルトのごとく自己認識の底に何かは知らぬ神を肯定した人や、さまぐな自己に關

する思想が人類の歴史に流れ込んでまゐりました。然しながら否定したにせよ、肯定したにせよそこには何らかの無理があり、痛ましい自己そのものゝ淋しさを示したのでありました。

私は詩人シエレーがプロメテウスアンバウンドに言ひ現はした詩想を思ひ出さずにをられません。

No change, no pause, no hope; Yet I endure.
I ask the Earth, have not the mountain felt?
I ask You Heaven, the all-beholding Sun,
Has it not seen? The Sea, in storm or Colm,
Heaven's ever-changing shadow spread below,
Have its deaf waves not heard my agony?
Ah me! alas! pain, pain, ever, for ever!

(Shelley's "Prometheus Unbound", act I.)

變化もなく、なやみもなく望もなけれど我や忍ばん
山感ぜざりしやと地にもの問はん
天よ萬有を照らす太陽よ我聞かまほし
汝見ざりしや海は嵐に凪に
大空のうつり行く姿さざむ下界に
答へなき波に我惱のいや募らざりし
あはれ我哀れ苦し々々永久に苦し。

（六）

然しながら基督に來るものには自己を歌ひ自己を肯定するに少しの無理も制限もありませんでした。むしろそこには勇ましき自由と情熱とが與へられました。基督に來る十二の弟子等は強く自己を歌ひ自己を肯定すればするほど基督の愛撫は増して行きました。そこにはユダヤ人も、ギリシヤ人も、ロマ人も分ちはありませんでした。

愛する我が日本の青年諸君よ、男といはず、女と言はず、神と基督のまへに自己を歌ひ自己を肯定して進まうではありませんか。我れ既に世に勝てりと叫んだ基督は今なほ扉の傍に立ち給ふのであります。（完）

先決問題の動議

村岸榮子譯

シカゴ市 Second Presbyterian Church 牧師、サイシャート博士の說敎集中の一篇

「エホバいひ給はく、いざ我等共に論らはん、なんぢらの罪は緋の如くなるも雪の如く白くなり、紅の如く赤くとも羊の毛の如くにならん」
イザヤ一、一八、

イザヤ書のこの章は大なる裁判の光景を示して居るのである。今や審判は始まつて居り神自身裁判官であり、同時に亦原告であり給ふ。被告は神の撰民たるイスラエルの民で、是に對する證人として豫言者が立ち、彼は被告の道德並びに精神の頹廢、神人の反逆等を嚴しく責めて居るのである。彼は又國家に起つた災害を說き、貧富兩階級の爭鬪、不義、害惡等を陳述して居るのである。然るに被告は辯解をして自分等は最も細心に宗敎の外形上の形式を嚴守した事、神人の献物を倍加した事、禮拜儀式の神嚴な樣式を樹立した事等を數へ立てゝ居るが、この自己庇護の辯解は言下に退けられて、彼等が眞に悔悟し正義の行爲をなすに非ざる限りは、暫しの間怖るべき悲嘆と苦難に遭遇せねばならない事、しかも神は終極に於て是等反逆の民を捨てず、シオンとその民とを償ひ給ふべき偉大なる宣告が下されて居るのである。

今私が玆に揭げた本文は、神が民を論議せんために呼び集め給ふものとして屢々誤まり說かれる事があるのであるが、事實は更に一歩を進めて、神が民

の決意を求めて人々を呼び給ふ召しなのである。即ち「來れ、共に論議しやうとか「來れ、論議を決定せしめやう」とか、「裁決のために集まらう」とか「果しない空論を中止して投票し樣」とか言ふのではなくして、神は「重大なる緊急問題を動議する」と言ひ給ひつゝあるのである。

けれども單に宗敎の原理のみを論議して是を現實に活かさぬ所の者が、如何に多くある事だらう。或はいたづらに審問のみを延長して、是が裁決を試み樣ともせぬ人の幾許多い事であらう。チャールス、ディケンスの不朽の作の一に或る訴訟事件が法廷で長引き長引きして、遂には最初の事件提出者等が死歿して了ひ、誰も眞の爭議の理由を知る者がなくなりやがて彼等の赤兒達が成人して結婚生活を營み、老人になりて死んで了つたといふ時になつても、未だその事件が決着なしに持續して行つたといふ話があるが、私が曾て二週間ばかり陪審官の一員として居た間に、是によく似た事實が起つた事があつた。それは陪審員の十一名迄が一致した意見を持つて居たのであつたが、第十二人目の一人が自己の意見を主張する事が餘りに執拗、頑迷なために、更に數時間この一事件のために討議せねばならなかつた事であつた、しかも此の事件たるや決して證據物件の不充分であつたが爲めではなくて、只單に十二人目の人が論議を長く煩したといふ事に基因して居たのであつた。

翻つて我等の人生を見るに、この大なる審問ともいふべき人生にあつて事を決する事を得ぬがために大なる失敗を來して居る人々が實に多數なのであるそして數ある罪惡のうちで、この不決定の罪惡ほど直接に迅速に適面に生活の反動を生ぜしめるものはないといふも、決して過言ではないのだ。ハムレットの悲劇の根源も玆にあるので、即ち彼は心に思ひ浮べる處をあまりに狐疑逡巡した結果、遂に決然と起つ能はなくなつたのであつた。

彼は絶間なくこの方がよからうか、或はその方が

高尙であらうかと決する處なく自問自答し續けた。そして最後に伯父に對して、父の非業の死を復讐する事が我が義務であると決心をつけた折にも、依然彼はそれを確實な決意と行動とに表はすには至り得ないで、彼を思ひ是を思ひ我と我が考へを胡麗化してはいたづらにその機會を延引せしむるに過ぎなかつた、しかも終りに於て彼は己の論理に結論をつける事を得なかつたがために、決定する事を得なかつたがために、全く情況を思はざる悲劇に導いて了つたのであつた。

ブラウニングの詩に「立像と胸像」といふ一篇がある。或る市街の廣場に一大公の馬上の姿の立像が立つて居る。てうど是に面した高樓の窓には一人の貴夫人の胸像が、黃銅の立像と相對して据えられて居る。この二つの像はそのかみ二人の間に起つた道ならぬ戀のかたみなので、彼等二人は互ひに思ひ合ひ戀し合ひつゝしかも世間體を繕ひ、社會制裁を恐れたので、今日は明日はと言つて決定する事なしに幾日を送り續け遂に人生の一大事を決行し得なかつたとの筋書である。ブラウニングは必ずしもこの不法なる戀を奬めて居るのではない、唯だ此の場合における最大の罪惡は、二人のものが決着をつけ様と欲しなかつた所にあるといふのだ。たとへ目的が罪惡であるにもせよ、それを思ひ切つて斷行して了ふ方が、いつもその一事を行はう行はうと考へ續けてしかも決行の出來ぬよりは遙かにましであるといふのである。「彼等各々の挫かれた魂に負はしむる罪といふのは、二人が共にその燈火に火を點じなかつた事、その腰に帶を緊めなかつた事」、換言すればふたりの罪惡はその喘ぎ求める所の物を得やうとして決定的に努力し得なかつたものだといふのである。

ブラウニング氏の此の見解は我々全部が贊同するかせぬかは暫く措いて、近代生活における最大の罪惡は、我々が義務感に就て論議する事餘りに多く、只是を議論するのみで我々がなさねばならない決斷

の處置に結晶せしめる事を嫌ふ傾向の夥しい事である。我々は極めてベラ〳〵と胸襟を開くといふ言葉を喋舌つては居るけれど、實際は解放された人心が何處にも得られない事を忘れて居るのである。「徹底的に心の開いた人物はその口を開くと同じ樣に起居するもの」で、即ちなさうと欲し亦現實な何處の行爲の中に確心を有して居る人物なのである。

事が唯に推理上の事になると我々は極めて開けつ放しの心を生じ易いのである。たとへば、火星には住民があるが、太陽の黑點は何のためか、鐵假面の人物は誰だつたのか、星雲説とは何か、かういふ問題には包む所なく心を開く事が出來るのである、なぜならそれが單なる理論上の問題であるから。

然るにたまたま燃える樣な血の滲み出す樣な日常の實際生活と實際行爲になると、人は公明正大に心を開く事が出來ずなるのである。生活は絶えず人をして彼が信ずる哲學を、決斷に即ち行爲にまで結晶せしめねばならぬ事を要求するのである。そこで玆に最も戰慄すべき刺すやうな大問題――人間の宿命的罪惡と神と人をの關係の問題があるので、この問題をこそ我々が決定すべき樣子と神は要求し給ふのである。「なんぢの罪は緋の如くなるも雪の如く白くなり、紅の如く赤くとも羊の毛の如くならん。」神のこのめぐみは我々の罪を、間斷なき學術的論爭の曠野に追ひやる事を肯んぢないのである。

井戸の邊のサマリアの女は神の禮拜所が山の上であるか或はエルサレムの神殿が法に適つた正當なる場所であるかとの議論を以て、我主を冗慢な論爭の中に捲き込まうとしたのであつた。然るにイエスは何たるきび〳〵しさを以て「より重大なる先決問題を動議し給ふた」事であつたらう。イエスは女に言ひ給ふた。「この樣な理論問題を爭論する時代は既に去つた。今はお前自身の生命と人格と運命とに關して

考慮せねばならない實際問題の時代である。」また、「行つてお前の良人を呼び來れ」と。女はこの時まで罪の生活を送つて居た、そして夫を知つて居た。さればイエスの提出した問題にて、彼女を本心に立ち戻さしむべく深くその胸に射通された箭であつたのだつた。

私は諸君に告げるが、我々の大部分は理論的問題のかげにいつまでも蹲踞まつて居て、我々の罪とか將來の運命とか神との關係とかいふ大なる實際上の結論に觸れる事から逃れやうとする者なのである、好んで我々は進化論を說き高等批評を試み聖書の中の難解な辭句を談ずる事をするものだ、或はイザヤが二人居つたのかとか鯨がほんとにヨナを呑んだのかとか、何事によれ我々は談議し合ふけれども、神が唯一つ我々に談議し合ふ事を望み給ふものは「我々はこの罪の身を如何にしたらよいのか、そして如何にせば神の前に潔められる事を得るか」といふ事である。おきゝなさい、諸君の罪は洗ひ去られるのだ、然し只討論した處ではなし遂げる事を得ない。一歩進んで斷行する事に依てのみ成功するのである物事を知らうとするには先立つて行つて見ねばならない、そして今や全地の知悉せる眞理は、罪の赦しがあるとの事實である。

一人の貧しい漁夫の妻が大聲で泣き乍ら濱邊を步いて居つた。この時偶然にも彼女の牧師にはたと行き逢つた。すると彼女は兩手を天にさし擧げて「私の罪、私の罪」と言ふばかりであつたので、牧師は彼女に向つて言つた。「濱邊の砂を高くなる迄積み上げて見なさい」と。彼女は砂を或る高さに積み上げた。「もつと高く」と牧師は言つた、彼女は夫に從つた。「それでも足りない、もつと高く」と三度牧師は言つた。彼女は命に從つた。そこで牧師は言つた、「そのまゝで少し待ちなさい。」聽てさうして居る間に潮が滿ちて來て大浪が一氣に高い砂山を洗ひ流して行つて了つた。「ごらんなさい、是と同じ樣に神の

大なる力はお前の罪を取り去つて下さるのだ、」から言つて牧師は彼女を教へたのであつた。

「よしや私の罪が山の様に高くならうとも、そして舞ひ上り上つて天に迄届くとも、宥努は空のまた上にある、
だから私はゆるされる」

よし基督教の本質が靈感論や進化論やその他の論理でないとしても、基督教が生命でありその根源に於て神への絶對服從があり、イエスキリストを通じて赦しのめぐみを受けるものであれば、諸君はこれら理論を云々するを止めて、大なる結論を得んとはなさらぬか。ムーデー氏は恰度シカゴ市に大火災の起つた當夜、大勢の聴衆に向つて大説教をした。そして彼は聴衆の決心を促した一週日の餘裕を待つ事を約して話を終つたのであつた。その夜大火がシカゴ全市を一掃して了つたのであつた。それでム氏は常にその事を語る時には落涙して言ふのであつた。

自分はその後只の一度だに、その時の聴衆の一人であつた所の者に説教をするの特権を與へられた事がなかつた、それ故に彼等は皆散々に離散して了つたのだ」と。おゝ諸君よ、明日は明日はと待つ事を止めませう。我々の最も陷り易い誤謬は、正當であると思ふ物事のはつきりとした方法が目に見えて來る時迄待つべき筈であると考へるのである。もしも正當なる物事であるならば、諸君が是を斷行する時に始めて方法が明示されるのであつて、是を誤まる事は即ち終局に於て人生の悲劇となるものなので ある。

「おそい、おそい、随分おそい、
それでもまだはいられる。
おそい、おそい、随分おそい、
それでもまだはいられる。
おそ過ぎた、おそ過ぎた、
まう私達にははいれない」

法律講話

婦人と法律

岡崎應介

第三　買物に就て(つゞき)

前回買つた物品に隠れたる瑕疵があつた場合に、之を知らずに買つた買主は、之が爲に契約を爲したる目的を達せられない場合には、契約を解除して其物を返へし、同時に損害賠償をも請求するを得、それ程酷くはないか併し其儘では我慢が能き兼ねるときは損害賠償のみを請求することが能きるが、買主は事實を知つてから一年以内に此權利を行使しなければならぬ。と申し上げました。

一體瑕疵と云ふのは何を意味するのか、隠れたると云ふのは如何なる場合を云ふのか、其隠れたる瑕疵が何時頃存在してたら買主は此權利を行使することが能きるのか、こんなことは根掘り葉掘りせんさくするのが法律家の仕事であり又法律學の重要なる内容の一であります。仍で口さがない京童から、法科の頭をたゝいて見れば、權利々々の音がすると云はれる位ギゴチないものとされて居ますが、そんな詮議は專門家に任せて、素人には素人の領分があります。私は素人の領分としても、今少し詳細に研究する必要を感じます。抑々買主が此權利を行使するが爲に左の要件を必要とします。

一、目的物が特定せるか、少くとも其選出せらるべき範圍が特定しなければならぬ。例へば此時計、此家屋と云ふのは目的物の特定せる場合であり、此樽の中の醤油一升と云ふ場合には選出せらるべき範圍の特定せる場合でして、其樽全體に瑕疵がある乘合には目的物に瑕疵あるものと云ひ得られます。

二、瑕疵あること、法律上瑕疵ありと申すのは、其物が通常取引の觀念上正に具ふべき性質を欠ぎ、又は當事者の特に保有すべきものと定めた性質を欠くことであります。例へば果實は取引上腐敗せざる食用に適する性質を有することが必要であり、金時計

の取引はテンプラでないことを必要としますが、豈計らんや買つた時計が金メッキかシンチューのいかものであつたり、中身の腐つた卵であつたなどは前者の例であり、當事者が特に生み立ての卵、新鮮なる野菜と約束したに拘らず、産後十數日を經た卵だつたり新鮮ならざる野菜を配達してくれた場合は後者の例であります。そして瑕疵は獨り物質的のものに限らず、法律上の瑕疵も當然含まれると解せられるのが一般です。尚瑕疵か補充し得られるものと否とは別に關係ありません。唯賠償の範圍、契約の目的を達せられるか否かに影響があります。

三、如上の瑕疵は之が爲に、物の使用價値又は交換價値を減ずるものであらねばならぬ。換言すれば、瑕疵の爲其物の價格を減じ又は買主が其目的を完全に達することを得ないことを必要とするので、何等買主に利害關係なき瑕疵は、假令瑕疵が存在しても爲に賣主に責任を負はしめる必要がないそれは如斯買主を保護する理由がないからであります。

四、瑕疵は隱れたること、隱れたると云ふ意味は前月も申述べた通り、通常人の注意を以てするも容易に發見せられない程度のものたることを必要とします。買主がソヽッカシヤで、それが爲に知らなかつたと云ふのでは不充分です。大凡私達が社會生活を營む以上、私達は社會生活の圓滿上社會に對して或程度の注意の義務を有して居ます。仍で法律は、此一般的注意義務を基礎として其注意義務違反者即ち不注意なるものに對しては、之に其惡結果を負はしめ、以て其注意を換起せしむるのであります。從つて通常人の有する注意を怠らなかつたら容易に發見し得らるゝ程度の隱れたる瑕疵は、之を隱れたるものとしないのであります。

併しながら敢て通常人よりも注意深きことを要求しないのです。而して文化生活の進歩と共に、私達の注意義務は漸次増加して來つゝあるは申すまでもありません。通常人の注意を以ても容易に氣付かない場合には、賣主の知ると否とに拘らず民法は買主

を保護するのであります。

五、瑕疵　契約の當時に存在すること、契約の當時には無疵だつたが、其後に至つて瑕疵が生じた場合には稍異り、隱れたる瑕疵なると否とを問はず、賣主は其損害を負擔しないのであります。民法はかゝる場合に其瑕疵が賣主の故意又は過失に因らずして生じた場合には特定物については買主が其損害を負擔するものとし、又賣主の故意又は過失によつて瑕疵を生じた場合には、買主は契約の本旨に添はぬ故を以て契約を解除し且損害賠償の請求をすることが能きるものとしました。

六、買主が瑕蹟を知らざること及び之を知らざるにつき過失なきこと。

七、賣買は任意なること、換言せば、强制的に競賣せられる場合には假令如上の諸要件を具備して居ても、買主は何等の保護を受けません。

　以上の要件を有するときは、買主は或は契約解除と共に損害賠償の請求をなし、或は單に損害賠償の請求のみを爲すことが能きることは前に申述べた所であります。其外民法は債權を買つた場合其他二三の場合を規定して居ますが必要でないと存じます故省略致します。唯茲に申上げねばならぬことは、之まで申述べた賣主の責任は、之を擔保責任と申し此責任に基きて賣買契約解除せられ、又は代金減額の請求せられますときは、往々當事者相互間に相對立した債務關係を生じます。例へば物品を受取つた後瑕疵を發見し、又數量の不足權利の欠缺を發見した場合に、契約を解除して其物を返へして了つた後賣主が損害賠償をしなかつた場合、又は反對に損害賠償はしたが買主が其物品を返してくれぬと云つた場合には一方はどうしても損失を免れない仍で一方が督促を受けた場合には民法が、双務契約當事者ノ一方ハ相手方カ其債務ノ履行ヲ提供スルマテハ自己ノ債務ノ履行ヲ拒ムコトヲ得ルと云ふ規定を設けてるのを援用し（これを同時履行の抗辯と云ふ）同時に引換にしようと主張することが能きます。單に代

金減額若くは損害賠償の請求權のみが發生するにすぎない場合でも同樣の法律關係が認められるのであります。

度々申す通り契約は自由である。故に如上の賣主の擔保責任は、當事者が任意に加重しても、又縮少又は免除する契約を結ぶも自由である、唯公の秩序善良の風俗に反することを得ません。從つて賣主の責任免除の場合でも(イ)、賣主は其知つて、買主に告げなかつた事實については尙其責を免れ得ません蓋し如斯は不信の甚しいもので詐欺の行爲だからであります。但し、買主が其事實を知つてるときには之を保護する必要なきを以て此例外の內に入りません。(ロ)賣主自ら第三者の爲に設定し又は讓渡したる權利につきましても其責を免れません。例へば同一の物を二重に賣つた場合などがそれで之を許すことは公の秩序善良の風俗に反する故其契約は無効で從つてかゝる特約あるも買主は尙上述の權利を失はないのであります。

以上買主の權利を主として說明しましたが、買主も亦代金支拂の義務があります。支拂時期については任意に定めて宜しい。若何等の定をしなかつたときは契約の成立と同時に支拂ふべきです。併し目的物の引渡に付き期限を定めたときは代金の支拂についても同一の期限をつけたものと推定されます。支拂の場所についても、別段の定ないときは、賣主の住所で支拂はねばならぬが、物の引渡と同時に支拂ふ代金は引渡の場所で支拂へば宜しい。それから買主は物の引渡を受けた日から後は、代金の利息を拂ふ義務があるが、代金支拂期限を定めた場合には其期限までは假令引渡を受けても利息を拂ふ必要はない。是等に關し特約を結び得るは勿論であります。而して又賣買の目的物につき權利を主張する人が出て買主が其買受けた權利の全部又は一部を失ふ虞あるときは、買主は其危險の限度に應じ、代金の全部又は一部の支拂を拒むことを得るが、賣主が相當の擔保を提供したときは買主の支拂拒絶權はありませ

ん。又買受けた不動產につき先取特權や質權又は抵當權（之等の權利は追々說明します）の登記があるときは買主はかゝる登記の抹消されるまで其代金の支拂を拒絕することが能きます。但し賣主は買主に對して遲滯なく其手續をなす樣請求することを得。其買主が此請求を受けた後遲滯なく手續をしないときは支拂拒絕權を失ひます。而して此等の支拂拒絕權は不當に賣主を苦しめることがあるので、民法は賣主にも保護を加へ、買主に對して代金の供託を請求することが能きるものとしました。此請求ある場合には買主は供託所（各地に在る）へ供託しなければなりません。

聖書研究

「エス傳概略（其六）

イエスの復活

武本喜代藏

十字架と復活とは基督敎の根本的二大柱礎である神道にも佛敎にもない、世界何れの宗敎にも見當らぬ神の子が人類の罪の爲めに死んだ、其死んだ彼が復活し、弟子に現はれ、四十日間彼らと飮食し、談話したと謂ふのである、十字架がなければ復活もなく復活がなかつたら、十字架も無意義に成つて了ふ二者全く聯關してゐる、彼は眞に死んだ、而して又眞に生きたのである。

復活は教義や、比喩でない、事實であつた、確かな史上の事實である、理屈は後から附けた、事實があつての數理で、數理あつての事實ではない、イエスは死後少くとも十一回弟子達の肉眼に自らを現はし給ふた、第一はマグダラのマリヤ。第二はペテロそれからエマオ途上の二人、夜十人の弟子へ、十一人とトマスへ、テベリア湖畔で七人へ、ガリラヤの弟子らへ、ヤコブへ、昇天前エルサレムの弟子達へ或山の上で五百人のものへ、最後にダマスコ門前でタルソのソーロへ顯現し給ふたのである。

　復活とは死者が氣息を吹返へして墓から出て來たと云ふのではない、去りとて又幽靈が現はれたと謂ふのでもない、生前の形體依然として、聲も容も變らないのに、榮光輝く靈妙の體で、忽ちにして現はれ、忽ちにして消滅したと謂ふのである主が特に彼らの前で、炙つた魚や、蜜房を食べ給ふた所は全く自分が幽靈でなく、甦つた、新らしい形體であることを證明せんとの思召じであつたらしい。

十一人の弟子達は主の沒後、首府の迫害を恐れ、間もなく、ガリラヤに歸つた、而して或時は湖畔で、或時は山上垂江の小山で主を拜した、彼らは大なる力と、希望に充たされ、勇氣百倍、更にエルサレムへと引返した、かくて聖靈を受くる迄そこに止つた、五旬節迄四十日間、彼らは幾度か主を見、神の國に付て親しく敎へられたのである。

　ルナンや、シトラウスや、ホルツマン等の學者等はイエスの復活を疑ひ、之を弟子達の幻象に歸した人の死後、暫時はどうしても死んだと思へぬ、ツヒそこにゐるかのやうに感ぜられる、神經的なマリヤが先づ此幻を視た、而してそれが甲から乙と傳染したのだと、如何にも尤もらしく聞へるが併し幻視とか幻覺と謂ふものが、場處を異にし、氣質を異にした人々に、一樣に現はれるものではない、多數の人が同時に、同樣の夢や、幻を見たと云ふ例を聞かぬ、幻象が魚を食べたり、パンをさいたりしたやうな實例もない、特に驚くべきは其結果である、一場の幽

靈談などに依つて千九百年來、世界幾千萬の人々の希望と成り、生命と成り、道徳的感激と成す勇氣、忍耐、行爲、奉仕の大動機と成つたと謂ふやうな事が果して何所にあらう。

(一)教會の起原　復活の事實を拒みながら世界的大勢力たる基督教會の起原をどうして説明し得るであらう、主を失ふた弟子達の失望落膽は眼も當てられなかつた、然るに如何なる動機に依つて、彼らは勃然として立ち、奮然として戰ふに到つたが、彼らの内的復活は主の外的復活の結果でなくして何であらう、生前幾度か復活を豫言した主が、何時迄經つても何事もなかつたなら、スッカリ欺されて了つた弟子らに勇氣の出よう筈がないではないが、然るに彼らの態度を視、其云ふ所を聞け曰く

「神はこのイエスを甦へらせ給へり、我らは皆その證人なり」

と、何らの大膽、何たる明白の證言であらう、かくの如くして基督教會は出來た、復活なくんば聖靈の降臨なく、聖靈の降臨なくして基督教會は斷じて出現すべき理由がないのである。

(二)新約諸書の起原　使徒行傳を初め、ペテロ書ヨハネ書、パウロの四大書簡等、何れも活ける望みを以て充たされてゐる、甦りの主が親しく此地に再臨し給ふとの信仰、希望、喜び、勇氣で躍つてゐるどうして之れが幻や、夢の結果であらう、そんな印象は直ぐ薄らいで了ふ、力がなく成る、馬鹿らしく成る、彼らの性行も、動機も、人格も、生涯其物迄もスッカリ一變さした程の此復活の信仰が、理智や常識で解し得ない、科學以上、人智を遙かに超越した神祕の世界から來てゐる事は疑はれぬ。

新約諸書の到る所に輝いてゐる黄金のやうな、生々した實際道徳や、倫理的教訓の如き、全く此神秘的な、超越的な信仰から來てゐるのであつて、此復活の事實を打消して了つたなら、根のない花同樣、直ぐ力と生命を失つて了ふに相違のない、パウロの書簡が萬代迄讀者の心を引き、其靈を鼓動さする所のものは全く此確信の上に立つて恐れず、疑はない所にある、區々たる言語文字は抑末だ、其背後に動いてゐる大信仰、大實驗こそ力の源泉である。

(三)パウロ改心の動機　フヒンドレー教授曰く

「パウロの改心は只に心理上の問題のみならず、又道徳上の同題で實際ダマスコ途上で、イエズを見た

と云ふのでないと彼の人格及び所信のかくも急激に豹變することは信ぜられぬ」と全くである、彼の前身と後身との差異の餘りに甚だしいのに駭魂する、彼程強烈に、亂暴にイエスを憎んだものが、又彼ほど烈しく、死物狂ひに成つて熱愛するに到つたと謂ふことが一片心理上の説明などで滿足に説けよう筈はないのである。

ダマスコ門外で天の光に打たれ、親しく主の聲を聽いたパウロは、生涯活ける主の證人であつた、彼は到る所、途中で主を見し事、又主が彼に語り給ふた事を證して止まなかつた、アンテオケの會堂で説教し「彼を木より下して墓に納めたり、されど神は彼を死人の中より甦へらせ給へり」と云ひ、エルサレムでの說教中「往きてダマスコに近づきたるに、正午ごろ忽ち大なる光天より出でゝ我を環り照せりその時われ地に倒れ、かつ我に語りて「サウロ、サウロ何ぞ我を迫害するか」といふ聲を聞き……」と云つてゐる。

復活は單にイエスの一身上に一度起つた奇跡的行爲ではない、彼は所謂死より甦つたものゝ初穗であつた、彼を信じ、彼と連つた我らの上にも又他日事實と成つて現はれ來るべきである、此信仰と希望の者には死はない、死の怖れは消へて了ふ、イースターの喜びはクリスマスのそれにも優つてゐる。我らはイエスと共に甦へるのである、榮光の中に復活するのである、何所に悲哀や、寂寞があらう、キリストに依れる人生は到る所幸福と歡喜に充されてゐるのである。

學窓より故國の友へ

ノースウエスタン大學　中西司娜子

氷にはりつめられたミシガン湖もとけて春らしくなりました。こゝ地よい風に日本の櫻の香が想像されます。櫻の國を去つてからやがて二年……長い様なしかも短い様な月日です、國を立つ前に「二年も

日本の地をふみ得ない」と考へた長い二ヶ年は夢の樣に早くも去らうとして居ります。然し米國へ來てからおそらく毎日「どうしてこんな事を今日まで知らなかつたか知らん。こんな大切な事を」と思ふ樣な經驗を致して居りますので此の二ヶ年の間に十年二十年間に得る程の新知識と刺戟とを受けました。それ程毎日强い刺戟を受け、考へさせられる事が後から〳〵と來るので遂ひ日本のお友達にも感想を申上げ得られませんで居ました。今日はあまり春らしいうら〳〵かな日なのでなつかしい日本を殊更に思はされまして筆をとりました。さて何から始めてよいか知れませせん先づ此一週間の生活の一端を書いて見ませう。

三月七日。大學の男女キリスト教青年會は、靑年會巡廻幹事ウイルソン氏を招き、「キリスト教と經濟問題」の講演を願ひました。これは四日間つゞき今日は其最後の日でした。宗教に關する講演はあまりもてないのが普通ですが此度は最後までかなりの聽講者がありました。お話の大體は今日の經濟界の渾沌たる實際の事實及その救はキリストにある事、學生がもつと社會事實を知り、同時に深い信仰を以つて世にたつ樣にとの命のある御奬勵でした。二百名程の男女學生は「キリストをもつと學び度い」との希望をのべて記名をしました。

三月八日。今週は女子青年會（ノースウエスターン）のが印度のラクナウ大學に送る寄附金を募る運動で大活動です、今日デポー大學に學んで居らるゝミス、パックスといふ印度の女學生を當學校に招かれました。同氏は朝と午後と二回私共學生にラクナウ大學の事及印度の樣子を話されました。當大學生は熱心に金を集め二千四百圓程得ました。

毎水曜の夕には學生部女子青年會の委員會があります。私も委員のお仲間入をさして頂いて毎週出席して居ります。色々の協議の後に私は「如何にして日本の學生がクリスチャンになるか」の話をする樣頼まれました。

「日本人は米國人の樣に誰でも日曜學校へ行く事はしない。然し學校で修身を學び家庭で道德訓話を聞き、眞理のふくまれる格言はカルタ遊戲にまでする程一般の子供に知られて居る。其他日本人は古人の遺德を慕ふ事を好む國民である。それ故聖書を直接知らずともキリストの精神の幾分は日本の子供にわかつて居る。ある年齡に達した時若い男女は熱心に眞理を求める。幸にキリスト教を此頃聞いた者及これに共鳴する者は、凡て己を捨てゝキリストを得やうと決心す。家庭　社會の反對があるだけに當人はキリスト信者の責任を强く感じる。又家族、友人をキリスト教に導く事につとめる。と言ふ樣な事を話しました。キリスト教の家庭に育ちキリスト教の社會に成人する米國は神、キリストの名が餘り普通なので、殊更考へる事をあまり致しません。クリスチャンであるといふ確心も、日本の信者程深くなく彼等は「誰でもクリスチャンである」と丁度私共が誰でも人間である」と思ふと同じ樣に考へて居ります。ある事實があまり普通になりますと、その事柄は意味を失ひます。私共のうち誰が、人間性とは何か、人間は如何なる點に於て他の動物と違ふかと眞に知つて居ませう。さてキリスト教も多くの米國人にとつてこれと同じ樣なもので御座ます。故に私の話は興味をもつて聞かれました。「貴女はキリスト教信者の少い、まだ知られて居ない國に生れて何と幸なのでせう。」「日本ではクリスチャンとは眞にそれを自覺した人なのですか、ところが米國では猫も杓子もキリスト教信者と自稱して居ります のです。」深く考へ、謙遜な態度の是等學生を私は敬服致しました。

九日。午前の學課を終へシカゴへ參りました。米國一の大デパートメントストアーなるマーシカルフィールドストアーの戶外趣味奬勵展覽會がありましたシカゴ女子靑年會のキャンプの出品も美事に出來てをりました。

十日。社會學課外硏究の爲シカゴ近邊の社會事業を視察する爲ウイネツカと言所の組合敎會のカシニ

ユテーハウスを見に參りました。こゝは附近の人々が集つて誰でもか自己の家の樣にする社交生活の中心です。かういふ建物は大な市には幾つもあります丁度公園が公共である樣に市立の公共建物はシカゴには多數御座います。建物の中には大小の集會室、體操場、水泳場、料理室、種々の敎場、圖書室、心地よい居間などあり、又幹事が居ましてクラブの指導者となり、英語、裁縫・料理、體操を敎へたりして居ます、日本人も今少し外に出て人と交り見聞を廣くする事を樂しむ樣にし度いもので御座います。

十二日。今日は風變りな日曜をいたしました。各派の敎會が親しくなれないのは今日の米國の敎會の悲劇です。他の宗派を知れ、互に了解しあへとの運動が力を得て來した。此日朝はロシアのオーソダツクス、敎會の禮拜に參り、多少新敎信者と信仰に於て異に所があるにしても彼等の熱心な祈の態度は新敎の敎會のとは異る感がしました。午後はハベイエズムの集會に參りました。ハバイエズム信者は一人の神を信じ、キリストは神の子なりと信じ、佛陀も、モハメットも神の子なりと信じてをります。宗敎は一、二千年經つと生命を失ひかけるので又新しい神の子、使者が必要である十九世紀にペルシャに生れたハバウラが即ち最近の聖者、神の子である。其他彼等の信ずる所には色々面白い事が御座いました。又信者は皆熱心な信仰の持主に見えました。キリスト敎國と誇つてゐた米國も今日は此の樣な色々の信仰で大問題を起して居ります。

十三日。シカゴの第四プレスビテリアン敎會の社會事業を視察に參りました。敎會禮拜堂の他に五十程の大小の室が御座います。クラブ室、日曜學校室子供聖書研究室、婦人聖書研究室、料理研究室、裁縫敎授室、體操場、讀書室等です。(中略)

夜ハーン氏の「東より」と言ふ本を讀みました。ハーン氏は明治の初めに日本に行かれ數ケ所で中學大學の敎授をされた人です。此「東より」の中に書かれてある日本の說明は眞理のてもつたのに驚かさ

れました。如何にして外國人に神秘的な日本がこれ程わかるかと怪しみました。今の世界の大問題の一つは、東洋、西洋の了解の困難ですと存じます。「私のして居る事は正しい、私のと異つて居るのは正しくないのだ」と各々が思つて居る所に如何にして平和が求められませう。考へ方、習慣の異る東洋、西洋が了解しあふのは易しい事でない樣です。ハーン氏の如く他文明をのみ込み得る人は少い。然しさういふ人のある事を感謝します。私共日本人も大きな心をもつて西洋文明或は米國の精神をつかみ得度いものです。

　十四日。エブントンの小學校へ日本の話をする爲に參りました。米國は今日本の事に非常な興味をもつて居りますので「日本の話」と言ふので生徒は一時間授業を休んで講堂に集りました。日本のおとぎばなし、日本の祝祭日、生活、子供の樣子などを話しました。話の後各敎室を參觀致しました、一年生は自由時間で、ある者は繪をかき、ある者は人形の家を作り或者は本を讀んでをりました。私を案內して下さいました校長先生「これは日本から御いでになりました方です。皆さんの作つたものを御目におかけなさい」と仰つしやいますと、十人ばかりてんでに繪や、人形や、玩具の机、ベットなどをもつて來て「これ私が作つたの」「これ見て、この人形可愛でせう。私が作つたの」と言ふ可愛らしさ。（中略）

四年五年生はそれ〳〵色々の質問を致します

「日本人はどういふ枕を用ひますか」

「日本人の食物はどんなものですか」

「あなたの着物の兩袖の白い圓い物は何ですか」

「日本語で何にか言つて下さい」――私は和歌を一つ言ひました。

「日本人ならあなたの言つてをる事の意味がわかるのですか。」

　エブントンで私は間借をして居ますので食事は三度市で致します。大てい誰か知つた人に逢ひますので一人で食事をする事は稀です。今日食事最中に一人の十五六歲のさげ髮の子がニコ〳〵して私の所へ參りました「私はどんなに貴女樣を每日探して居たか知れません。

「失禮ですが貴女樣は誰方でしたか」

「先々週貴女樣は私の女學校へ來て御話し下さいました、あの時私共に日本少女の手紙を下さいました

でせう。私は速早返事を書いて送りました、米國のエハガキも送りました。あの手紙は日本語で書いてありましたが貴女様が私に譯して下さいましたが今こゝに私の父と母が來て居ります。父母にもう一度あの手紙に書いてある事を記して下さいませんか」其子供の兩親はあびせかける樣に日本の事を質問いたしました。

私の毎日は以上の一端が少々語る樣に誠に多事です。私の狹い頭は張りさけさうです。故國へ歸つて古いお友達に色々の御話をするのを待ち遠しく思つて居ります。今夜は滿月です。まんまるい月がも少し前にミシガン湖上に昇りました。私の室の窓から湖も月も見えます。

祈について少女達は如何に考ふるか

岡崎小文譯

「私はね朝祈る機會がないのよ。だつてね周圍には多勢人が居るでせう。そして爲る事が澤山あるのですもの、それからね夜になると私ねむくつて仕方がないわ。あの時々祈りながら寝てしまつてよ」

「私はあんなかれこれ言ふ祈は嫌ひよ、何だか誇張的で口先ばかりのやうだわ。」

「嫌やな時に祈つていゝのか知らん。それでも正直か知らん。」

「私はね神がゐらつしやると思ひ兼ねるのよ、何もゐらつしやらない空虚の所に祈つてよいのか知らん。」

「私はね一年間も毎日弟がクリスチャンになるやう

にと祈つてゐますのにまだ何のお答へもありませんたのに神はきつと答へて下さると如何して信ぜらませう。」

「神は種々なさらなければならぬ事が澤山おあり遊すのにどうして私のやうな者の小さな事にかまつておられませう。」

　とかう言ふ風に苦しんで居る小女達から理究摯めに逢ひますが、大概同じ樣な焦思と同じ怪しみ、疑であります。是等の質問の源は神はどんな方であるかとの正直な概念によるものであります。

「若神がキリストの如くは、それより今少し優れた方ならば」キリストの神とはこんな方だと信じ給ふた如くならば、即彼の子供の一番いやな者をも見捨て給ふことのない父でゐますならば、吾々を愛し理解し、最も近くゐまし、かすかな望さへあるならば常にゆたかな生命を與へる爲に働いて下さる方だとすれば、神は吾々に何を要求し給ふかそして我々は神に何を求めるか？　祈とは一體何であるか？　祈は何の爲ですか？　一定の時に繰返しくり返す言葉に過ぎないのでせうか、神が命じなさるいろ／＼な義務から逃れ出す魔術の形式でせうか、或は與へることを躊躇ふてゐらつしやる神に答を得る機械的の條件を充したと言ふので無理やりに願を叶へて頂けるものなのでせうか？　それとも祈は父なる神とお互とが生活の興味の凡てに於て――事の大小を問はず是等は神と吾々凡てにとつて共通の興味である故に――妙へなるいよ／＼増す友情の道を學ぶ爲でありませうか？

　神は必ず吾々の祈を聞き給ふと、どうして確信し得ませうか？　若神が時と能力に制限のある遙な處にゐます審判者ならば、其興味はよく整頓した特別の場合の表現丈に働き、大な出來以外には念頭に入らない程の忙しい方であるとか、或は生活などには關係がない方であるならば、吾々は個人の極小さな事柄に注意を拂はれるか知らんと疑ふのも無理からぬ事であります。而し神が時間及空間を超越した吾

々の父でゐますならば、そして生命のある所にいづこでもゐまし、吾々に最も近くゐまし、ゆたかなる生命の爲に熱心に働き給ふならば且つ眞の父の愛するやうに愛し給ふならば聖旨にとまらぬ、間違なく答へ給はぬ心の疑も、思ひのひらめきもないのであります。

斯樣なる父なる神との關係に於ては第一に貴いものは友誼であります。物を願ふことは附屬的のことで、しつこく求めてる事も他の人々の爲に直ぐには與へられない事があり、或は其人に最もよいものでないならば賢い父親は與へないのです。しかも神を思ふ積れる蓄へられた友情は、定まつた時に言葉を述べる丈でなく、眞の友誼を祈によつて結んで居るならば最もよい結果を成就するのに力ないものでせうか？

眞の友誼で盲目的でない賢いものは、これを伸ばして行くには時もかゝり考へも用ひねばならないのです。祈が人の日々の生活を定めて行くのに力あるものならば時を費す價値が充分あります。更に考を受けつ與へつする爲には（祈はかくある筈であります）吾々の心は普通一日の仕事の織りじまひの氣分よりかも新鮮に活潑でなければなりません。ですから吾々がまだ勞れない、他の雜務の起きない前の時間が必要です。

若し斯樣な父なる神にたゞぼんやりとして感情及考へ、たゞ支離滅烈な變つて行く空想をいつも捧げますならば祈は名にふさはしい友誼とはなりますまい吾々は話してる方が誰であるかを記えます時常に最もよい明瞭な、出來る丈の徹底した考をさゝげる筈の樣に思はれます。故に時折は一番よいものを捧げ得ん爲に祈を書く事もよい事があります。お互に排他的でなく二種の祈が一致して參ります。祈の特別の時をよく守る者程、どんな時にも平時か危機の場合も同じく常に速に神に向つて考へる友誼の習慣がすら〳〵と來ます。父の神の聖旨をこれよりも滿足させるものがありませうか？祈以外の物で友誼と言へるものがありませうか？而しながら又そこに大な困難があります。子供達が夜祈りますやうに祈を始めた少女が澤山あります。

「今私はねむりにつかうとして居ます主よ願くば我靈を守らせ給へ若夜の間に召されますならば何卒我靈を御許に行かせ給へ。」同じ時刻にねむりにつく他の小供のあることは思ひもせず又「まどろみ給ふことなく夜の間も働き給ふ父なる神のことも思はないで祈はたゞ自己中心で私に私のと言ふ一人稱のみ使はれてゐます。「何の事について祈るのですか」私は專門學校、大學校の女學生達に質問をしましたが答は殆ど例外もなく一人稱の代名詞で大概單數「私の問題、私の友人私の家族、私の仕事、私の樂しみ私の悲しみ」と言ふのです。主の祈によつて敎へられた「吾々」といふ言葉さえ多くの人々の心には家族とか敎會とか或は直接關係のある小團體よりほか思へないのです。

しかも吾々が神の家族の世界についての自覺がだん／＼生成して來る時に「吾々」と言ふ言葉の周圍に線を引いたり垣を作つたり出來ませうか？ 若神が吾々の神であり、しかもたゞ吾々のものでなく全人類の父であるならば、神はたゞに吾々に興味を持ち給ふ丈でなく、同じく吾々の世界の家族の凡ての者にも同樣です。されば最も大な必要のある所には御聖旨が働いて大變鋭い注意を拂ひ給ふ神のゐますそれが知れて來、神の思ひと共に祈らうとして來ます。こゝかしこ世界の人々の中を探し最も力の必要な人を求めてこゝに始めて眞心から「我等の父よ」と言ふ意が知れるのです。しかる時はもはや「祈を唱ふ」丈だと言ふ間違もなければ、祈の最中ねむくなつたり、結果によつて受身になりたり或は神を思ふのにぼやつとして滿足したりしなくなり、日々の新聞を讀む事さえそれが祈への特別の刺戟となります。私どもが好きであらうが嫌やであらうが、神の世界の必要を知る以上神に對して何か考へ何か手を下さずには居られません。且つ世界に美しいものがある以上、或は樂しい物が、立派なものが、普通ありふれた日々の物が或は必要の物がある以上又は何物か何人が生きてる以上父なる神はそこに興味をもち働いてゐらつしやり、神と更に深い交をする爲に祈るやうにと召してゐらつしやいます。つまり祈は最も優ぐれた賜物で御座います。

鳥の乙女

村岡花子

　長い日脚もやがて傾き初めた。海は刻一刻に眞珠色と變つて行つた。暫くすると、遙か北の方から、耳を刺すやうな野鴨の聲が聞えて來た。とう〳〵それは一團になつて、マーチとモレイの居る直ぐ上まで飛んで來た。囮の鴨共は例のダドレイ小父さんが音頭取りで、盛に呼び立てたが、空中の鴨はそんな物にはお構いなしで列も亂さずに去つて仕舞つた。

「ヤレ〳〵全くの駒鳥日和ねえ。平氣で行つちまふんですもの、仕樣がありませんね、」と言つたモレイは一寸の間、ぼんやりして居たが、急に元氣附いて

「アッ！御聽きになりませんか、白鳥が遣つて來ますよ、ね？御聞えになるでせう？　白鳥ですよ、白鳥ですよ。」

　マーチには何も聞えなかつたが、囮の鳥共はちやんと感附いて居た。彼等が一齊に振り上げた高唱の雄大さ、マーチは唯呆氣に取られるばかりだつた。

　白鳥の鳴聲、それは何に喩へてよいか、他に一寸比類の無い、謂はゞ仙境から來る叫とでも言ひさうな、不思議に魅力のあるものであつた。野鴨のやうに亂暴な聲ではない。荒々しい中に一種言ひがたい幽幻な音律がこもつて居た。

　純白の翼を悠々と羽ばたきしながら、白鳥は天使の群のやうに青い空を飛んで行つた。

「ヒユウ……ヒユウ……ヒユウウウ…………」

　やがてそれは長く引かれたリボンのやうにしか見えなくなり、遂に聲も形も大空のかなたに消えて仕舞つた。續いて又野鴨が來た。次ぎには白鳥と云つたやうに、絶間なく、千羽、萬羽の水鳥の群が行き交うては居たが、一羽として囮の誘にかゝる者は無かつた。かうして二人はとう〳〵一つの獲物も持たずに歸路に就いた。

　夕食の後で、マーチは狹い食堂をぶら〳〵と歩い

たジムは部屋の隅の方でラテン文法を讀んで居た。

「オイ、ジム君、君はいつまでもこんな狹苦しい島にくすぶつて居ないで、早く世間へ出る工夫をしなけりや駄目だよ。」

「エヽ、僕はきつと、今に、此處を出る決心です。」

マーチは眼を擧げて壁に懸つたジムの母親の寫眞を見た。其の側にはつひ此の頃まで何かもう一枚寫眞が懸けてあつたらしい樣子が見えた。

「君のお父さんつて云ふのに一度逢ひ度いんだが、今夜あたり、五分や十分話をしたつて、然う病氣に障りさうも無いけれど、どんなものだらうね？」

「僕、一寸行つて聞いて來ましやう。」

ジムは直ぐに戻つて來た。氣の毒さうに、

「父さんは濟みませんが、失禮いたしますつて言ひました。」

此の時、マーチはジムの文典の本を取上げて、見返しの上の手跡に眺め入つて居た。「ジムへ、父より。」それは何だか見覺えのあるやうな手跡であつた。然し、何處で見たのか、誰の手跡なのか、さつぱり思ひ出せなかつた。唯頻に氣になつて堪らなかつた。其處へジムが戻つて來た。

「ジム君、君はね、ニユーヨルクぢや何處に住んでたの？」

「八十七番街です。」

「西通りかい？」

「エヽ、然うでした。」

「家屋を覺えて居るの？　番地は？」

「そんな事は何にも覺えがありません。」

マーチは椽の方に出た。彼は心持眉を寄せて居た彼はどうしても記憶に上つて來ぬ何物かを求めて居るのであつた。あの手跡、あの姉弟、壁に懸つたあの寫眞、其の一つ一つが奇妙に彼を焦立ゝせた。あの寫眞の主は前に見た事のある人のやうにも思へるが、然りとてそれは何處でだつたか、まるで見當が附かぬ、或は五年前に此處へ他の連中と來た時にやはりあそこにあゝして懸つて居たのかも知れぬとも

思つたが、それは有り得べからざる事だつた、其の時分には未だヘロルドが此處に任務めては居なかつたのだ。

文典の中の手跡はどうしても今初めて見た物とは思はれぬ感じがしたが、然しいつものヘロルドからの手紙の字とは違つて居た。それでも「ジムへ、父より」としてある以上、それはヘロルドの手跡には相違ない、そして其の手跡は初めての夜以來、マーチの心にかゝつて離れないのだつた。

全體、ヘロルドといふのは何者だらう？あの上品な子供達の父親である以上、確かに教養のある人物に疑ひはない、それが何故、こんな獵場の番人なんぞをして居るのだらうかといふ事も不思議で堪らなかつた。何れは何か大きな事業の失敗にでも出逢つたのであらう。其の爲めに、若い盛りの子供達を無慘々々とこんな離れ島で暮させねばならぬのであらうとマーチは自分の想像をめぐらした。此の一孤島の獵場の監督の娘に自分は今滿心の愛を注いで居るのである。たつた一週間！　たつた一週間で、此の變化が來た。マーチは今まで自分をほんたうに冷靜な近代人だと思つて居た。事業家で、交際家の自分のやうな者にこんな柔い感情があらうとは思ひもしなかつた。そしてそれで充分自分は滿足して生活して來たのだつた。それが唯の一週間の中に此の貧乏臭い獵場の事務所の若い一人の娘の爲めに此のやるせない思をするとは、我ながら呆れ返つて仕舞ふ程に意外であつた。花の大都會のきらびやかな貴婦人連には何の興味も感じなかつた彼である、それが此の名も無い嶋の乙女の爲めには不思議な痛みを覺えるのだつた。

臺所の戸が開いた。そしてモレイが出て來た。何といふ無心な、何といふ優雅な様子であらう！　マーチは無言でほゝゑんだ。

「今晩はいつもよりも片附に暇が取れましたの」とモレイもほゝゑんだ。そして又言葉を續けて、

「あなたに頂いたコールド、クリームを附けました

がお蔭様で、少しは柔くなつたやうですわ」と言つて手を出して見せた「さあ、又さつきのお話を聞かせて下さいませんか。」
「聞き度いですか？」とマーチは尋ねた。
「エヽ／＼伺ひ度くて堪りません、内部へ入りませうか。それとも星の下を少し歩きませうか？　未だ蛇は出ませんから大丈夫ですのよ。暖くなると、あれが何より恐ろしいんですがね。」
「おや海岸の方へ少し行つて見ませう。」
モレイは一寸内部へ戻つて、古くなつたコートを着て出て來た。
「お父さんは如何なんです？　あなたがゐらつしやらなくつてもいゝんですか？」
「エヽ、ジムが直ぐ次ぎの室に眠りますから大丈夫です。ねえ、ミスター、マーチ、私の弟はか愛いゝ子だと御思ひになりませんか？」
「ジムは實に立派な子ですよ。」とマーチは熱心に答へた。二人は海岸の方へ歩んだ。暫く水を眺めて居たマーチはいきなりモレイの方を向いた。
「僕はジム君の爲めに何かして上げ度いんだが、お父さんはさせて下さるでせうか？」
「あなたの仰る事がよく私に分りませんわ。」
「つまり僕はあの人を北部へ連れて行つて、しつかりした學校へ入れ度いんです。」
「ミスター、マーチ、あなた、それはほんたうに仰つて下さるんですか？　噫！　私はどんなに然ういふ事をあの子の爲めに願つたか知れません、ほんとに夢に見て居りましたの！　何てあなたは御親切なんでせう！　だけど、迚も……ほんとに御親切は嬉しう御座います。けれども、私共としてはどうしてもそんなに迄も御世話になる事は出來ませんわ。」
「だから、僕は其の事で、お父さんと御話しがしたいんです。」
「其の事で！　ほんとに其の事の爲めなんで御座いますの？」
「エヽ、それもあるんです。」マーチは一寸言葉を切

つたが、直ぐに又後を續けて、「あなた方は――あなたとお父さんとはですね――ジム君を手放せますか？」

「そりや、ジムの勉强の爲めでしたら、どんなに寂しくたつて、我慢しますけど――ですけど、そんな御親切をどうして御受けが出來ましやう！」

「出來ても出來なくつても、受けて下さる心がありますか、どうですか？」モレイは暫く躊躇したが、稍あつて、「私、ジムの爲めでしたら――ほんとに、どんな事でもしようと思つてます。あの子が勉强が出來ると言ふんでしたら――ほんとに隨分厚かましいやうですが――私には御斷りは出來ませんわ。ですけど、父は何と申しますか、男の心と女の心とは違ひますから――」

「僕は先づジムを何處かちやんとした豫備校へ通はせて、それからすつかり準備が出來たら大學へ入れて、そして卒業の後では若しあの人が志望するんだつたら、僕の方の事業を一緒に遣らうかと思ふんです」モレイは感謝の餘り聲も出ないやうだつた。

「あなたが仰つてらつしやる其の一言一言で、私はあなたの奴隷にでもなつて、此の御恩返しを致し度いやうな氣がします。ほんとに一生涯此の御親切は忘れません。たとへば父が不承知で、御受けが出來なくても、私は此の世の中にこれ程御親切な方が私共の爲めにあつたと言ふ丈けで充分滿足で御座います。」マーチは星の光で、モレイの眼に涙が宿つて居るのを見る事が出來た。彼はモレイとも離れて、一人砂の上を步き廻つた。彼は狂はしい迄に今はモレイを戀して居た。そして、自分が間違つた緒から話を初めて仕舞つた事に心附いた。無論彼はジムの爲めに誠心誠意から盡し度かつたのだ。然し乍ら、ジムの話を先に出して仕舞つた今、どうしてモレイに對すを思を彼女に語る事が出來よう！モレイはブラウドな婦人であつた。今になつて、彼女を愛して居ると言つたなら、必ずジムの事は彼女の心を得る爲めの手段と取るに相違ない。然う取るのは最も自然

な事である。彼は先づ第一に彼女を愛して居る事を告げ、そして其の後に、ジムの爲めに計るべきであつた。モレイは金錢に眼の暮れるやうな人ではなかつた。彼女は若々しい、淸らかな心の持主である、ジムの事に寄せて彼女の心を引かうとでもしたかのやうに取られたなら、マーチの心の受入られる望は無かつた。(つゞく)

平和博休憩所

日記中より

三月卅日(木)晴

大呑氏の司會にて禮拜。新しくコックさん(鈴木)來られサンドウヰッチは奇麗に作らる。

喫茶室にてはお赤飯が早く賣切れてサンドウヰチが忙しくなりミス、アームストロングお手傳い下さる。本部よりトラクト多數及湯湧しを持參さる。

キャシレヂスター來る

入場者

休憩所一千三百人　喫茶室八百四十三人

看守さん八名

四月一日(晴)

松宮夫人司會にて午前十時禮拜をなし仕事を始む今日より田川姉御手傳ひ下さる事となり大いに助かる。其他相原、岩崎、鈴木の諸姉御來援下さる小林彌太郎氏より蓄音機を御寄附下されレコード卄枚御借し下さる午後蓄音機をかけ多くの人喜ぶ。小林彌太郎氏神崎教授(關西學院)平野七郎氏、井上友子姉御來訪御獎勵の御言葉を戴き嬉し。

雨上りの日和とて入出多し

入場者一千二百四十七名

四月二日(晴)

大呑氏司會にて禮拜をなし一日の働をはじむ日曜日殊に櫻花の盛りとて入場者多し、菅沼、守田咲、青木愛、久川、秋山、菊地の諸姉來援大いに御

手傳ひ下さる。青木姉讃美歌入レコードを御借し下され休憩室の方では讃美歌をかけ、御歸りの方々には小册子を差上ぐ、かくして間接に傳道の實を擧げん爲なり、午後井深夫人、大江夫人來援。
日々新聞の的場氏、白木屋の宮入氏來らる宮入氏は看板の圖案を御持參下さる一同つく〴〵白木屋西野氏の御親切に感ず。
喫茶室臺所にはコックさん(野村)働く事になり大助かり。休憩所には卅一日スタンダードより石油ストーブ參り瓦斯七りんを取つけた爲に來場者に番茶を差上る便になりたり
入場者千八百七十二人

四月四日　早朝雨後晴又雨
午前中晴れにて人出多き所へ雨が降りだした爲に雨宿りに入場する人多し、喫茶室は靜かなりしも休憩室は千四百八十二人の來場者あり、煙草を止めて戴く樣にいふ事のみでも中々困難な位なりき
今日より澤木姉休憩所に御働きの事となる。喫茶室にはブラジルコーヒーより原料參り而も二人の店員御手傳ひ下されし爲大いに助る。
大呑氏協贊會理事武市氏の御紹介にて遠藤事務總長に御目にかゝり電話(場内)をお願ひし又第一第二會場入口に本會所在地を示す標板を出す事を願ひ個人的に許可さる。看守の爲の働についても說明し御了解を得總長より出品課長に御話し下され、明日の事務主任會にて本會の意の在所を御說明下さる事となる。

四月六日ミスアームストロング、鈴木姉、大江夫人、青木愛子姉御來援後。後藤市長本會の前に止られ大分評判がいゝですよ」と仰しやる。
梨本宮妃女王殿下御通過御附人の本會につき說明さるゝをきく。
休憩室には誠に多くの幼兒連れ婦人見ゆ、
「基督敎女子青年會とは何か」の印刷物出來、來會者に配布す。傳道小册子を持歸る人多し。
入場者　休憩所八百九十五人、喫茶室五百七十三

人、看守三十八夕食十一人

四月九日（晴）

ミセス、ハナフォードよりオルガンを拜借す、午後二時ミスハミルトン五人の聖歌隊の方を御連れ下され讃美歌を唱つて日曜氣分にして下さる。蓄音機も讃美歌のみをす。横倉姉、岡崎姉御來援、金がいかいイルダンベイと言つて去りし老婦人ありたり。

入場者千二百十一人

四月十日（晴）

ミスターエルウィン御歸國につき御不用になりし小冊子を澤山御持參御寄附下さる。

宗教部委員より御注文なされし聖道三百冊、其他「喜の音づれ多く來る、

大阪毎日神戸支局記者大塚銀次郎氏、神戸ベンキー領事ワテル氏及同伴外人二名來訪、會場の地圖及迎賓招待券を呈す。英語を話す者居たりとて大いに喜ばる。

日本語の少しも話せぬ朝鮮婦人來場永らく休み感謝して退場。

入場者　休憩室八百六十一名　喫茶室五百八十名

看守十四人

小室夫人本深夫人岩崎壽美子姉ミスアームストロング鈴木姉御來援、

四月十二日（晴）

午前中旗を飾りつく。英國皇太子殿下御入京當日とて一般に見物人少し。鈴木とみゑ姉御來援。

入場者　休憩室三百三十二人、喫茶室百三十七人

看守十五人

四月十三日

白木屋より宮入氏來られ聖句を壁にはりつく。

看板二つ出來上る。

江崎夫人、門倉夫人御來援。

入場者　休憩室五百三十二人、喫茶室二百八十人

看守十五人、外國婦人四人

朝鮮館の鮮人及内地人看守の爲にパーティをなすミスアーム、ストロング、鈴木姉責任をお持ち下され

蓄音器、歌、遊戲などをして樂しき一時を過し來會者十三名は一同喜びに滿ちて去られし由。

四月十四日(雨)

今西夫人、石川かつ子姉、加藤姉、ミスアームストロング御來援下さる。午後二時頃風の少し強きため臺所の上のガラス窓落ち丁度その下に居られし松宮夫人は少し頭に傷をされしもほんの輕傷なりしは不幸中の幸いと皆感謝す。

入場者　百二人

四月十五日(晴)

井深夫人、青木夫人、阪本花代姉、ドクターリード及御同伴一人御來援。

提灯十個出來、イースター日曜の爲百合花三鉢買入、安藤組より大工來り窓を修繕す。

青木夫人花を御持參下さる。今西夫人外人御案内被下御來場

入場者　千八十四人

入場者感想斷片

神樣の惠に依つて一日を樂しく暮し休ませて戴いた事を深く感謝します。　深田美子　大野匡子

○

喧騷な混雜の烟の樣な塵の中、其中にも神の御惠に浴する事が出來るのかと思ふと限なき喜びと、感謝の念が湧かずに居られません。　橘香果

○

一日の勞れを此の休憩所に來ていやされ感謝します。此お働きに依つて猶一層基督の愛が世人に傳はる事を祈ります。　M.T. S.K. B.M.

○

雨に打たれ人にもまれて疲れに疲れた體を皆樣の暖い御心にいやされまして深く感謝します。T.i M.K

○

田舍出の私達には此の御親切な御取扱ひを實に嬉しく感じました。(靜岡縣河野鶴子)

○

安に田舍から來て入場し休み場もないので困りましたが御親切な御催し有難くて一句默り升、

田舍者休憩室で背伸する　（福島縣内州かをる）

○

あゝ清き御心、如何に數多き人に感謝さるゝ事でせう。私も其の一人です、私もクリスチャンになり度いと思ふて居ます。（Y.S）

○

此の御親切なお休み所、どんなに嬉しいか分りません。子供を伴れながら歩いて居ます私等に取りましては何と申し上てよいか分りません。お蔭樣で疲れた足も休みました、御親切にお茶まで下さいまして感謝します。（下谷區吉岡ハツエ）

○

私は靜岡英和女學校の卒業生で御座いまして今なほ會員で御座います。始めての上京で何も樣子は分りませんので何の御手傳いも出來ませんことを悲しく思ひます。只々皆樣の感謝に滿ちての御働きを嬉しく思ひます。何卒皆樣おすこやかに御はたらき下さいませ。（靜岡縣小柳久子）

本部會計報告　御寄附金

拾圓也（負擔金として）	神戸女學院青年會
貳百八拾圓也（同上大正十一年度）	神戸女子青年會
拾圓也（同上）	東洋英和青年會
壹百圓也（同上三月分）	東京女子青年會
拾圓也（同上三月分）	橫濱女子青年會
六拾六圓也（同上十年五月十一年四月）	大阪女子青年會
五圓也（維持費五口三月分）	松岡鎮枝氏
貳拾五圓也（同上廿五口三月分）	河井道子氏
參圓也（同上一口三ヶ月分）	伊藤道子氏
壹圓也（御寄附）	千村重子氏
壹圓也（同上）	小谷正子氏
五圓也（同上）	青山ヒデ子氏
貳圓也（同上）	ミス、ハート

特別會計報告

貳拾五圓也（支那學生大會の爲御寄附）	フェリス女學校青年會
拾貳圓也（同上）	女子學院青年會
四拾圓也（同上）	東洋英和青年會
拾圓也（萬國本部負擔金）	神戸女學院
壹百圓也（中歐學生の爲）	ウヰルミナ女學校

特別支出

參百六拾七圓四拾七圓也（萬國本部負擔金として送）

平和博覽會會計報告（四月廿四日迄の分）

收入（寄附金）	一五、四四九・〇〇
支出	一四、五九一・三九
內譯	
土地借用費	一、二六〇・〇〇
保證金	五五〇・〇〇
建築費	八、四九四・二三

家具備品費	一、七〇一・七八
水道工事費	三七三・〇〇
瓦斯工事費	二七二・九〇
電燈工事費	六一・〇二
装飾費	七六・一〇
俸給	一、五六七・五〇
印刷代	一〇一・九〇
文房具代	二一・九二
郵税	七・〇二
宗教部	三〇・〇〇
雑費	七四・〇一
合計	一四、五五一・三九
差引殘高	八五七・六一

但し尚四ヶ月間の俸給、印刷、書籍小册子(分與)諸雑費等には、約五千圓を要す。

北京大會に出席して

福井榮子

身にあまる大きい神の御恵と尊い經驗とを受けて一昨日無事に歸京致しました。一體何から申上げてよいかわからないほど皆様にお分け致したい事は數々ございますが時に制限がございますため此處には極々簡單に大會の有樣と私の感じました事を申上げるより外出來ません。

御承知の通り今回の學生同盟大會は第十一回目でございまして支那北京の郊外にあります清華學校で開かれました。期間は四月四日の午後から九日の夜までで集ひましたものは約八百名。その中支那からの代表者が約六百七十名ありまして殘りの百三十名は三十二ヶ國を代表してゐました。

私は生れてはじめて斯樣に多くの世界各國の方々に親しく接する事が出來、之等の方々と共に集ひ講演をきゝ神に祈つた時に私の心は嬉しさで一杯でした。如何にその風俗習慣は異なつてゐるとはいへ唯一人の神により結ばれた兄弟姉妹であるといふ事を強く強く感じ、神の愛の廣大無邊である事を涙ぐましい程深く明らかに知りました。

四日の夜からいよいよ會長モット博士により開會しました。大體の日程を申上げますと、

午前七時十五分―四十五分迄―各自の朝の祈
八時三十分―九時四十五分迄―講演
十時―十一時十五分迄―討議
十一時半―十二時半―各國よりの報告

午後からは大統領のお招きにあづかつたり、萬里長城或はサマーパレスを見に出かけたり校庭で競技會があつたりしてなかなか忙がしうございました。午後八時からは再び講演がありまして十時半には就床しました。

今回の標語は「基督と世界改造」でありまして講演は何れも此の題目の下におかれてありました。

私が一番興味を持ちましたのは午前十時から十一時半までに行はれました討議會でした。此の討議會は六組に分れてゐまして第一組は國際及び人類問題について論じ、第二組は基督教と社會及び産業問題について論じ、第三組は如何にして基督教を現在の學生に紹介すべきかを、第四組は學校生活を基督教化するについて、第五組は學生の教會に於ける責任について考へ第六組は如何にして此の世界基督教學生同盟會を尚一層活力あるものとする事が出來るかにつ

いて論じたのでした。

私は此の中第四組に出席致しました。我々國家生活を改造する重要な階梯として先づ我々の學校生活を潔めねばなりません此の大きい使命を果す責任をもつてゐるものは我々基督教團體であります。其處で如何にして我々がもつと有力なものとなれるかについて眞劍に論じ合ひました。或會はあまりに廣く手をのばして種々の方面に活動してゐるために、その目的とする所に統一が缺けてゐる事があります。其處で青年會の唯一の目的といふものが定められました。即ち基督を知らせ廣める事、之は誠に簡單の樣に感じられますが私共の會はやゝもすると、あまりに事業的に發展してこの最も大切な中心目的をおろそかにする恐があると思ひます。次に此の目的を實行するに最も重要な方法が三つ選ばれました。

一は聖書研究—基督についての新たなる研究をはじめる事、

二は祈禱—二三人づゝの小さい群を作り祈禱する事、

三は個人傳道—神の國をひろめるために、忍耐と熱心をもち、小さい親切を重ねて一人づゝ導くことをつとめる事。

私は之等の學んできた事を自分の學び家の中に生かして行つてゆかれるやう全力を注ぐ考でゐます。

大會は九日の夜の集りをもつて閉ぢられました、翌日天津に居られる黎前大總統の御招待があり、その後八百人の者が東西南北に別れました。

最後に一言、私が支那の方々に對する感想を述べさせていたゞきます。正直な事を申しますと私は今まで支那の方を本當に低く考へて居つたのでございます。所が此の度まゐりまして一番强く感じました事は支那といふ國は實に高低の差の甚だしい國だといふ事でした。

北京に汽車がついた時、ドヤ〳〵と多くのクリーが我勝ちにお客の荷物を持たうとして私共の部屋にわり込んできた時には恐ろしうございました。又車引きがお金がほしさにお客の取りくらをする所や商人がおびたゞしい掛値をする所を見た時には實に一種の不愉快を感ぜずには居られませんでした。所が清華學校の門をくゞりますや直ちに別天地である事を知りました。私共は日々其處に清華學校の學生又はボーイスカウトの自己を忘れての麗はしい親切な活動振りを見ました。誠に大會に來られた支那の代表者は眞に敎養ある紳士淑女でした。若い女學校からの方々でさへ私など到底比較にもならぬ程自由に立派な英語を話されるのでした而して彼等には決して臆する所がないのでした。英語の講演を婦人方が立派に通譯なさいますし、討議會の時でも婦人女學生がドシ〳〵立つて明白に意見を述べられます。私は本當に驚いたのでした。そしてこんなに精鍛された高尚な支那の方々と友達になれた事を心から喜ぶと同時に私共もつと元氣を出して雄々しい、しつかりとした所を學ばれば、支那の方々におくれてしまふと感ぜずには居られませんでした。

東京基督教女子青年會報告

商工部　(イ)白木屋パーテー。三月二十八日、出席者は百五十三名。(ロ)講演會「日本の工場」につきミセスウッド。(ハ)夜間日本裁縫及料理實習會好況を呈す。(ニ)湧泉クラブは近來に至り聖書研究會次第

に眞面目を加へ出席者は十名より二十名。（ホ）クラブ員は博覽會休憩室窓掛製作を手傳ふ。

體育部 （イ）文部省主催の體操講習會に出席されし全國より集まれる體操敎師等三月三十日來館しダンス及體操を參觀されたり。（ロ）女子の體育奬勵の目的を以て女子體育競技會開催に定めたり時日は五月二十七日（土）午後一時御茶の水高等師範校庭に於て（ハ）第一回相談會を四月十三日午後六時開く。出席者は市内女學校體操敎師・文部省嘱の人。棚橋源次郞氏體操學校。第二回委員會十七日。競技日を定む

敎育部 四月十五日迄の數英語科百八十三名。商業英語科六十一名。速記十三名。ピアノ二十三名。オルガン十一名。ヴァイオリン二名。編物二十三名。生花十三名。西洋料理五十名。西洋裁縫十一名。合計三百九十名。

一般報告 四月十六日イースター禮拜を三時より擧行。御感話二階堂眞珠氏。佐々木姉のピアノ。長谷川きみ子姉獨唱（聖ポーロ）東洋英和女學校有志合唱等にてめづらしき音樂プログラムありたり。

五月六日（第一土）午後四時より年會開催の筈。

橫濱基督敎女子靑年會報告

宗敎部 二月二十四、五、六の三日に渡り河非先生「人の姿」「神の聲」「現代生活とキリスト」の題の下に特別傳道集會を開きたるが來會者五百餘名中新に敎會員たる事或は聖書研究を希望せられし方々八十四名ありたり。此人々の爲五月上旬より特別の聖書の組を開くことゝなりたり。

特別英語の組 當市野澤屋店員のため三月より生糸檢査所の方々のため四月より英語の組を設く。

クラブ 一、ルキズクラブ二年の間忠實なる同會々員にて又本會敎育部の眞面目なる生徒なりし土屋しげ子姉去る四月九日突然肺炎の爲逝去せられぬ一同哀悼の情に堪へず。

二、ウヲヒーロークラブ、フエリス女學校生徒より成る同クラブは四月十三日意味深きかつ美しき入會式を外國幹事宅にて催しぬ。

三、夫人クラブ、四月十八日神奈川縣廳の木村氏、

住宅につき有益なる御話ありたり

音樂會　三月二十四日夜當市紀念會館に於て豫定の如く音樂會を開催す、主なる出演者はショルッ氏、安藤幸子夫人、鈴木信子姉、長坂姉、來會者壹千二百名餘、豫期以上の盛況を見る純益七百圓近くを得たるは會員の方々の御熱心なる御功力によりし事にして深く感謝す。

旗の日　四月十二日英國皇太子殿下横濱御上陸を祝し本會事業の爲小形の日英國旗章を市中に發賣す當日は本會々員三十名、東京、本部の幹事數名朝七時より夜遲く迄御援助下されし事感謝の外なし。純益壹千百圓以上。

神戸基督教女子青年會報告

去る三月廿二日大呑幹事本部女子青年會主催にかゝる平和博覽會內婦人子供休憩所管理委員として上京されし以來殘る職員等は萬事に太く不安を感じましたが試練さるべき好機と思ひ祈りを以つて努力致しました。

バザー　三月廿五日豫定通り會館と隣家鴨田氏のお座敷庭園を拜借して開きました、此度は少し趣を變へ會員及び諸組の方々の手に依りて作られし實用品及び食品等を賣店の主なるものと致しました。前日來の寒さで雪さへ散らつきましたが幸ひ入場者は午前十時より夕六時迄の間に四百名近くも有りお手傳下されし諸姉の熱心なるお働きのお蔭にて純益參百八拾餘圓に達し豫期以上の好成績を得る事が出來ました。

教育部　晝夜英語の組十二日より、西洋料理拾八日編物(タッチング)拾九日より開始し、料理はミスチャッペル、編物はミス、マクレーガーとお二人にて御擔當下さいます他にミス、チャッペルの市立女學校生徒の英語の組を來週から始めます。

クラブ　プリンセッス看護婦兩クラブにては拾參日夜ミス、チャッペルの指導にて西洋料理の食べ方を實習致しました。

當會幹部委員の一人なる中村えん子姉は南米メソヂスト大會に御出席の爲め夫君御同伴にて四月拾壹日神戸出航のペルシヤ丸にて御渡米の途に着かる。

來る拾六日イスター祭當日は男子青年會と合同にて市內各教會及び男女學生有志の方々の參加を願ひ四百人のコーラスを組織し市背の諏訪山公園に於て午前六時を期し關西學院吉崎教師司會のもとに讃美禮拜を行ひ、米澤牧師(歐米視察最近歸朝されし)の講演を聽き、主イエス、キリストの復活の眞の意味を味はひ度いと希望致して居ります。

ピアノ講入の爲め四月廿二日、ショルッ氏を招き神戸女學院にて音樂會を開くべく委員方奔走中でございます。猶年會は五月一日に定め一同其の準備中です。

大阪基督教女子青年會報告

□大阪といふ市の一の特色は市と市民との關係が大變親しく圓滿な事であるやうに思はれます。市民は市に遠慮なく各自の要求を持ち込み、市は又よくそれを理解して市民の働を助けます。當會は創立當初から有職婦人寄宿舍の建設を目論み市に援助を求めて居りました所が、此度愈々約百五十坪程の地所を市が理想的の住宅地として開拓しつゝある五萬餘坪の中から貸與せられたる事に內定いたしました。永年の宿望を實現し得る曙光を認め得た私共は大奮發いたし玆に建築費五萬圓の募金を實行する事に決定致しました。生れて四年にしか成らぬ婦人の一小團體が此計畫を成功させやうといふには一方ならぬ懸念と憂慮とが會內外の人々の心の中に起つて居ります。經濟界の不振を理由として中止を勸告して下さる方もあります。けれど私共の働の中にはいつも超常識の事—世間の人から考へれば不思議と思はれるやうな—が行はれたのですから、此度の企も信仰と希望と勇氣とを以て始める事になりました。目標の金額を集め得るか否かといふ、事は第二の問題として此運動は造て之に携はる者の祝福となるに相違ございません。又此一事は殊に斯くあれかしと祈らずには居られぬ事でございます。去る十七日、折善くも幹部委員會の前日、北京からの歸途大阪を御通りになるといふ電報を河井先生から戴きましたので、無理矢理に下りて戴きました。私共にとつて先生の御來阪は全く天祐でした。私共は此募金運動の爲大阪府知事大阪市長其他市の有力者三名に賛助員としての御助力を御願したいと思ひ、殆二週間程面會の機を求めて居りました。先生の御來阪を幸すぐ府廳に出かけて知事に面會を得、難なく賛助員の御承諾を得ました。それに勇氣づけられ直に市役所に市長を訪ひ、北京でも亦私共の願望を許されました。翌十八日には林前知事を訪問してやはり賛助員の御承諾を得其上賛助員は名だけでなく一度會合した方がよろしからうとの御助言迄戴き、私共の勇氣は百倍せられたやうに感じて居ります。近く會館で賛助員會を開く事になつて居ります。募金期日は五月十五日から十日間ですから何卒御加禱下さいませ。

□教育部は新入生三十餘名を迎へ元氣旺盛です。今學期から新に日本裁縫、マンドリン、ヴアイオリンと佛語等の組を設けました。

□復活聖日には音樂部主任ミススタインメッツ指導の下に讃美禮拜を催しました。四十人餘の方が出席せられ美しい集ひでした。

□奧樣の集は二十四日例會を催し醫學博士大平得三氏の御講話を伺ふ事になつて居ります。

京都基督教女子青年會報告

三月十五日以後は種々のパアティを催す
(1)、良人同伴の親睦會
(2)、御結婚のため上京さるゝ荒木氏の送別會を催し同氏の同級生一同を招待す
(3)、同志社女學校の此年の英文學部卒業生の中此春東京の幹事養成科に參成さるゝ山添みち子氏を初め數名來られて茶話會を開きたり。
(4)、三月三十日は豫定通り組及びクラブ會員等諸姉と膳所に遠足をなす此日幸ひ天氣清朗暖かにして琵琶湖の上を走る廻覧船は鏡の上をすべる如し坂本より數分にして三井寺に至りそこより疏水下りの船に乘りて五時半歸京す。
四月は一日より八日まで各組クラブを休みたり。二十九日は會員一同のため活動寫眞會を開く計畫なり

フエリス女學校女子青年會報告

私共は新學期を迎へますと共に多勢の姉妹方をも與へられました。何處のクラスルームもはち切れさうに一杯でございます。私共は大勢の姉妹方をお迎へする喜びを持つと同時に何かしなければならない責任を感じます。そしてこの大勢の姉妹方をどの樣にして神の道に導かうかと考へます。私共はますます希望と元氣とを以て青年會のためにつくしたいと思つて居ります。クラスルームの滿ち溢れてゐるやうに私共一人々々の心の中にも神の靈が滿ち溢れたならばどんなに嬉しい事かと思つて居ります。

明日は丁度英國皇太子殿下のおいでになる日でございます。その爲めに橫濱の女子青年會から旗を賣るやうにとのお頼みがございましたので今日は私共の旗の日を致しまして校内の芝生で賣りましたが大變賣行きがよく學期始めにこの紀念すべき働きの出來た事を何よりうれしく思つて居ります。

新學期で何かと取り込んで居りますのでまだ何も整つて居りませんが來週あたりからはいつもの通りに集會を致すつもりで居ります。又いつも純益の多いパン賣りも始めるつもりで居ります。今年は人も多い事ですから大いに成功させる意氣込みで居ります先學期の終りに役員の改選を致しましたから序に御報告申し上げます。

會長　井上伊曾子
書記　中村かつ子
會計　湯澤　滿子
日曜學校長　小林　敏子
賣物部　岡本　雅子　渡邊とい子
集會委員　桑原　梅子　鈴木　夏子
仕事部　長野　操　大矢　信子　河野百合子

プール女學校青年會報告

過去一ヶ年間可成に事多く送つた年月を考へて見ますと痛切に祈の必要を感じます、各部の働もさ先づ順潮に臨時の催しとしては讃美音樂會一回基金蒐集文藝會一回お菓子デー二回博愛社への寄附も足りぬ乍らする事が出來ました。一月役員改選があり三月。四十一名の會員を社界に送り出し新に百人近くの入會者を得ました。

既に新役員の腦中には樣々な充實發展策が編まれてゐます、此處には未だ發表致しませぬが遠からず事實となつて現はれる事で御座いませう。私共の小さい集りの成長の爲皆樣の熱き御祈を御願ひします終に諸先生はじめ皆樣の益々御健在ならん事を祈り簡單な報告に止めて筆を擱きます。

大正十一年度役員委員

顧問　ケトリストラム　小野　先生
會長　吉本朝子先生
副會長　廣瀨　久
書記　白井　歌子
會計　染谷　カネ　齋藤　房
祈禱部　伊藤　田鶴　蔡彩　勤　古今堂
矯風部　安藤　きし　前田　漢子
誘導部　増田　とし　中島　ふみ　平野　はま
泉　谷
社交部　鹽澤　菊枝　有賀　ふで　伏田　章子
前川芙美子
雜誌部　藤　尾　岩　橋
博愛社部　森　房子　楠　民子
仕事部　伊庭　豐子　近藤　ふじゑ　喜多　とし
小　川　平瀨　露子　松尾　和佐
SS委員　岡本　操　蔡　彩雪　横野　靜枝
以上

梅光女學院女子青年會報告

私達の學校では十一日から初まりました。新入生八十余名に、遠く朝鮮よりの多くの留學生諸姉を迎へました。私共委員は如何にして此等の人々を導いてよいかと考へ中で御座います。

三月上旬の金森通倫先生の特別傳道により決心した百六十名の姉妹のため各クラス〳〵を委員が受け持ち、ます〳〵信仰の道へ進まれるやう努力いたして居ります。

今度新しくゐらしたミスヂービータルスを特別顧問の先生方の一人に加へ御指導を仰いで居ります。私共委員は何分無經驗で御座いますからよい働きを得る事が出來ません。けれども此の爲に一生懸命祈りながら努力いたして居ります。どうぞ本部の皆樣私共青年會のために御祈り下さいますやうお願ひ申上げます。

新刊紹介

「少年裁判制度と監視制度」（編者姉崎博士）

第四十五議會が產んだ諸法案中、少年法案及び矯正法案は共に新しい立法ではないが兎も角も從來の我國刑事政策上大缺陷だつた保安處分に就て面目を新にする事が出來た。政策上少年の取扱については最困難な所で、之を直に罪人扱ひにする事は却つて本人の反社會性を助長し社會の損失之より大なるはない。少年を過まらしめた社會に於ても亦責任があるが故に社會は之に對し刑罰を課する前に保護教養を加へなければならぬ。此法理を最もフランクに實現したのが米國の少年裁判法及監視制度である。此則に當り姉崎博士が該博なる知識を以つて米國の制度を簡明平易に飜譯されたるは喜ばしい事である。讀みたい人の爲に

定價壹圓貳拾錢
東京日本橋區本石町三丁目
發行所　博文館

國際基督教徒聯盟世界大會

華府會議は豫想以上の効果を齎した。それが日支關係日米關係の險惡なる雲霧を一掃し去つた計りでなく世界を戰爭より非戰爭に押し進めた。誰か吾國の人々にして此會議以前に海軍々備縮少が事實の上に實現し得ると信じて居た人があらうか。然しこれが事實となつた。これは吾人の双手を擧げて感謝せなければならぬ處である。然し軍備の縮少は單なる縮少であつてまだ戰なき國を實現したのではない。言はゞ五十步百步の狀態にある。吾人のクリスチャンは友情によりて保たれ、道理によりて決定せられ人類互に相居る事なき國を實現せずんば已まぬ精神を有して居るのである。此理想の眼よりすれば華府會議の効果を以て滿足することは出來ない。我等は此際更に一段の努力をなして戰爭なき世界を現出する樣に努力せねばならぬのである。國際基督教徒聯盟は此目的を實現すべき使命を持つて居るのであるが本年八月コーペンヘーゲンに於て世界大會を開く事となり日本よりも其代表者を出すべく慫慂して來たので先日の委員會で愈少くとも一名の代表者を送る事に決まつた。今其討議せらるゝ問題の主なるものを擧ぐれば三つある。

第一　宗教的少年と人種の問題
第二　軍備撤廢
第三　世界の融和と建設に對する教會の職務

等である。吾人は世界の舞臺に立つて如此問題を考慮せねばならぬ時機に際會して居るのである。此會に集まる二十四ヶ國のクリスチャン代表者の上に神の豊なる祝福を祈らなければならぬ。

備考	定價郵稅共			廣告料		
一御注文は一切前金に願ひます 一御送金は振替でお拂込み下さる事が便利で安全です。但手數料一錢をお加へ下さい。郵便切手代用は一割增 振替東京二三七二三番		內地	海外			
	一部	金貳拾錢	金貳拾四錢	一行	金五拾錢	年極又は回數により割引有
	一年前金	貳圓	金貳圓五拾錢	半頁	九圓	
				四分一頁	金五圓	
				全頁	金拾五圓	

大正十一年四月廿八日印刷納本
大正十一年五月一日發行

神田區錦町一丁目十六番地
發行兼編輯人　河井道子

東京市芝區櫻田和泉町七番地
印刷人　前川吉治郎

右同所
印刷所　三成舍

神田區錦町一丁目十六番地
發行所　日本基督教女子青年會
電話神田三六五二番
振替口座東京二三七二三番

concentrated on Bible Study-materials and methods, the flame burned high, and all present voted to emphasize personal and class evangelism during the spring term, working to bring into the Christian life all class and Association members.

Miss Chappell had a party with some of the graduating class of the Kenritsu Girl High School on the 27th, at which the girls expressed their desire to form a club. Twelve girls from the Ichiritsu (City) High School have also asked for an English class, which is to be formed on condition of its becoming a club.

Preparations from the Easter Sunrise Service which is to be held at 6 a.m. April 16th in Suwayama Park are now occupying our central attention. In this servicc all churches, Christian Schools and the two Christian Associations are uniting, and although the Y. W. C. A. has taken the initiative, the response from all quarters is enthusiastic and the meeting bids fair to set an inspiring precedent. Pastor Yonezawa of the Kobe Congregational Church, just returned from a trip round the world (which he says is just now in process of Resurrection) is to give the message, and a large chorus will sing hymns from No. 1 Sambika, arranged in order from Gethesemane and the Cross to the Resurrection. Special emphasis is being laid on inviting students from all the schools to the attend the meeting. The objective is to let as far as possible all of Kobe know that Christ is Risen and Living and that all may find Resurrection in Him.

KYOTO

On March 30th we had our first picnic of the season. Thirty-five women and girls went to the cottage on Lake Biwa for the day. The weather favored us with sunshine and we enjoycd "exploring" the island as well as playing on the beach. We returned by boat,—by a Lake Biwa boat from Zeze to Otsu and from there to Kyoto in two wasen. It was the first time some of the girls had been through the tunnels by boat. The Seihokei Club of the Furitsu Hospital planned a similar outing for the 24th but rain prevented their plans going through.

Doshisha Girl's School opened on April 11th with an enrollment of 985, which is an increase of 200 over last year.

A new high school with a class of two hundred has opened this month in Kyoto.

At a recent meeting of the Committee, Mrs. Katagiri was appointed chairman of the Girl's Work committee now being organized.

Plans are being made to entertain the Presbytery which meets in Kyoto April 20th and 21st. More than one hundred invitations have been issued for a tea to be given at the Y. W. C. A. building on the afternoon of the 20th.

Finance efforts have taken first place in matter of time and energy in the last month. The concert on the evening of March 24th was a great scccess from every point of view. About 700 yen was added to the treasury and the evening was one of rare pleasure for those who heard the four artists Mr. Scholz, Miss Suzuki, Mrs. Ando and Miss Nagasaka. Another thousand yen was added by the sale of flags on the day that the Prince of Wales arrived in Yokohama. Secretaries from Tokyo from the National and local staffs were invaluable help and numbers of Association girls gladly gave their services. Mr. Griffin's troop of Boy Scouts were also of service to the Association in this way.

KOBE

The sensation of the March Board meeting was its vote to loan Miss Onomi to the National Committee for the Peace Exposition Y.W.C.A. centre, for April and May, and to contribute her salary also for this period. The Exposition opened on March 10th, and because of the early pressure of the crowds coming to the Association Headquarters, Miss Onomi left on March 21st, a few days earlier than originally voted.

This was a special test because of the Annual Bazaar of the Kobe Association, which was held on the 25th, and of the preparation for which Miss Onomi was very much the centre. But we are very glad she could respond to the need in Tokyo, and have heard great reports of her work there.

Both staff and volunteer workers showed a fine sense of responsibility about the Bazzar, and both in preparations and on the day itself, worked without complaint, with splendid spirit. Miss Watanabe, who had the central responsibility in Miss Onomi's place, said that if there had been no profits, the spirit of the volunteer workers would have been sufficient result for all the work that had been done. But the profits also showed progress, and although complete reports are not yet in, will surely amount to four hundred yen. It is estimated that a thousand people attended.

All the English, cooking, knitting, sewing and Bible classes closed their winter term successfully, and the spring program is to reopen on April 12th, with several new features, including a tatting class, taught by Miss Chappel. The staff Bible class which has been studying the Master, let by each secretary in turn, has promoted individual growth and group fellowship, and fanned the spiritual spark until now at the Pekin conference time it is ready to burst into flame. At the Kwansei Staff meeting on March 16, when for the second time the thought

Classes opened April 8th with an increased attendance in all departments. The largest increase was in the typewriting classes, which have 40 new students, making a total of 61, and the shorthand classes total 13. The enrollment in the English classes is 183, making a total enrollment in the Educational Department of 378, up to April 17th.

Under the direction of the physical director, Miss Sara Ferris, arrangements are being made for a Girls' Athletic Meet in May. A meeting was held in the Association April 15th to discuss plans, and was attended by twenty-five men and women, including four members of the Department of Education, besides physical directors and principals of several girls' schools. It was decided that the Meet be held May 27th on the grounds of the Girls' Higher Normal School, and be under the joint auspices of the Department of Education and the Y.W.C.A., and as part of the Exhibition of Physical Education to be held next month.

YOKOHAMA Y.W.C.A.

A new Bible Class is to be started the first week of May for the girls who found Miss Kawai's evangelistic meetings so great a source of strength that they took their first steps toward a Christian life in response to her appeal. Eighty four girls and women singned cards signifying a desire to know Jesus Christ, and the spiritual life of the Association received a great impetus. Miss Kawai's addresses were on the subjects—Humanity, The Voice of God, and Christ and the Life of Today.

The Yokohama Association has suffered a great loss in the sudden death of Miss Shige Tuchiya. She had been a loyal and enthusiastic member of the Louise Club and had entered most helpfully into all Association activities. Her beautiful joyous spirit made her greatly loved and valued as an Assiociation member.

Two groups of girls, one from the Nozawaya Department Store and the other from the Silk Inspection Company have started work in English Classes at the Associaton taught by Miss Allen.

The Wohelo Club consisting of girls from the Ferris School held their initiation service at the home of the foreign secretaries on Thursday of last week. The beautiful candle service which had been planned especially for these girls was very impressive and we feel that to them has come a very definite vision of character and service.

Mr. Kimura whose work is in connection with the Kanagawa Government spoke at the last meeting of the Married Women's Club on the subject "Housing."

THE YOUNG WOMEN OF JAPAN

(JOSHI SEINEN KAI)

Volume 19 MAY 1922 Number 5.

NATIONAL

Japan sent a full delegation to Peking to attend the Conference of the World's Student Christian Federation April 4th to 9th. The delegates were Mrs. Tsuji, a member of the National Committee and the head of Miss Tsuda's School: Miss Hasegawa, National Committee member and a teacher at Koran Jo Gakko, Tokyo: Miss Yan Shidachi, who has recently returned from school in England: one student from each of the following colleges: Ei Gaku Juku, Kobe College and Tokyo Woman's Christian College: and Miss Kawai, Miss Jane Scott and Miss Yuri Watanabe from the National Staff.

The work at the Peace Exposition is proving a great success. From the opening day on March 15th to April 17th the rooms have been used constantly. The largest number in the Rest Room in one day was on a holiday, April 2nd, when 1872 people were served. On that day 920 people were served in the Tea Room. The average daily attendance is about six hundred in the Rest Room and five hundred in the Tea Room. The girls who are employed on the grounds are coming to the rest rooms for lunch, and these girls have singing with one of the secretaries. Some of them are having English and knitting lessons. Groups of these girls come together in the evening immediately after their work, for social times and recreation. Volunteer workers and committee members are giving a great deal of time to the work.

TOKYO Y.W.C.A.

Last term closed with a party for the girls in the Shirokiya Department Store. One hundred and fifty girls sat down to supper, after which there was a musical programme followed by games. Members of several clubs helped serve and wait on tables. The girls of the Yusen Club also helped make the curtains for the Rest Room at the Peace Exhibition.

The monthly lecture under the auspices of the business girls was given in March by Mrs. Margaret Wells Wood on the conditions among factory girls in the districts of Kobe and Osaka.

◁帆足理一郎著▷

社會と新人

著者は現實の人間關係を靈化醇化聖化せんが爲めに、神を父とし全人類を同胞兄弟と見るイエスの純單なる福音に依據して、「社會奉仕即人格之向上」なる著者獨得の生活原理を高調し、社會と個人とは世相の兩極にあらず、一人格の兩面觀に過ぎずとなし、社會の眞價を個人の內面生活に求め、彼れの心裡に活躍する社會心の抱擁力と深刻性とは直ちに以て個々人格の內容を組成するものとし主張し、社會生活に於ける清き愛の奉仕は即ち個々品性の具體化に外ならずと見る。本書の使命は飽くまで現實に立脚して、新人の理想を指導せんとするもの、燃ゆるが如き著者の熱血は迸つて讀者の心胸に何等か宗教的欣求を喚起せずば已まないであらう。

第四版
四六判五百頁
天金布製函入
定價參圓卅錢
郵送料拾四錢

哲學概論

▼第拾版

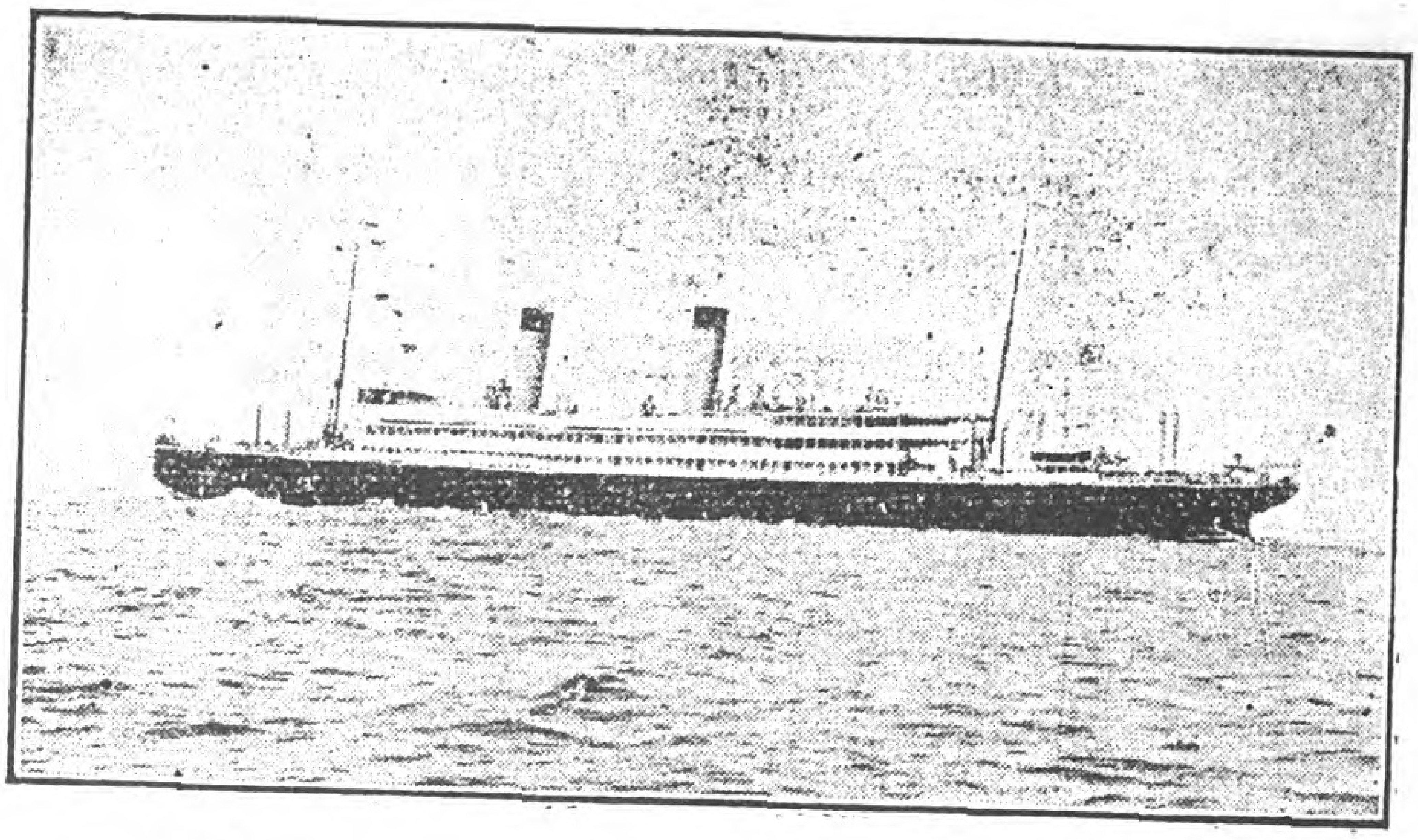
▽四六判天金四五〇頁布製函入
定價四圓五拾錢郵稅拾八錢

▽宗教と人生(九版)	▽價 二、五〇
▽人生詩人ブラウニング(四版)	▽同 二、五〇
▽哲理と人生(七版)	▽同 二、〇〇
▽國民生活の改造(三版)	▽同 三、三〇

專制主義貴族主義のドイツ哲學は破産し、絕對主義論理主義の形而上學は破滅した。今や哲學も實際經驗の鍛冶場に走り、勞働の膏血に洗禮され、民衆文化の琴線に觸れたものでなければならぬ。著者はヘエゲル派の哲學に發成されてロッツエの人格主義に走り、轉じて實際主義の堂奧に參し、今や進化論的生命主義の哲學を提げて吾が學界に呼號し、傳統哲學の迷妄を破つて新哲學の曉鐘を鳴らしつゝある。本書は早稻田大學に於ける講義の概要であつて簡單平明、倘哲學の各部門に亘つて有ゆる問題を取扱ひ、一々明快なる批判を試みてゐる。加ふるに行文流麗何等澁晦の跡なく文壇の新人たる著者の面目躍如たり。單に初學者の入門として適切なるのみならず、新哲學の概觀として稀有の名著である。

發兌元 東京市麹町區隼町廿番地 振替口座東京二〇一九一四 洛陽堂 電話九段九六九番

東洋汽船株式會社



本社　東京市麴町區永樂町一丁目一番地（電話丸ノ内一五三〇、一五三一、一五三二番）

營業所　横濱市山下町五番（電話本局四四〇〇、四四〇一、四四〇二、四四〇三番）

出張所　神戸市海岸通七番地。香港、キングス、ビルヂング。上海四川路ノース、チヤイナ、インシユランス。ビルヂング。マニラ、チヤコビルヂング。桑港、マーケツト街六五二、マーチヤンツ、ナシヨナル、バンク、ビルデング。紐育、ブロードウエイ、一六五。ホノルル、アレキサンダー、ヤング、ビルヂング。

北米航路（桑港、布哇ホノルル、横濱、神戸、長崎、上海、マニラ、及香港間）

本航路は太平洋航路中氣候温和、海上平穏なること第一にして船舶の巨大、設備の完全、待遇の懇切とに由り航海最も安全且つ愉快なり

大洋丸	排水量	二二、〇〇〇噸
天洋丸	同	二二、〇〇〇噸
春洋丸	同	二二、〇〇〇噸
コレヤ丸	同	二〇、〇〇〇噸
サイベリヤ丸	同	二〇、〇〇〇噸
波斯丸	同	九、〇〇〇噸

さいべりや丸波斯丸は往復共大連に寄港す

大連航路の偉觀なり

南米航路（香港、門司、神戸、横濱、布哇、桑港、羅府、墨國、巴奈馬、秘露及智利諸港間）

本航路は東洋南米唯一の定期航路なり

安洋丸	排水量	一八、七〇〇噸
銀洋丸	同	一六、〇〇〇噸
樂洋丸	同	一八、五〇〇噸
靜洋丸	同	一四、〇〇〇噸

各寄港地及各國樞要都市に代理店の設備あれば船室保留並に發着日割等は最寄に就て御問合せを乞ふ

女子青年界第拾九卷第五號（毎月一回一日發行）
大正十一年四月廿六日印刷納本大正十一年五月一日發行明治卅七年五月七日第三種郵便物認可



一部定價二十錢